

平成24年度 垂水市市民満足度調査 結果報告書

平成24年7月
垂水市

はじめに

平成21年度、平成23年度に引き続き、平成24年度垂水市市民満足度調査を行いましたところ、多くの皆様のご協力を頂き、結果報告書を取りまとめることができました。

調査にご協力いただきました皆様、誠にありがとうございました。

さて、平成20年に市政運営の指針となる第4次垂水市総合計画が策定され、市政運営におきましても、地方自治を取り巻く環境が大きく変わり、市民の視点に立った行政経営が求められているところでございます。

この「市民満足度調査」もそういった視点から第4次垂水市総合計画に定められた27の政策の「重要度」と「満足度」を皆様にお聞きし、全体として市民ニーズがどこにあるかを見極めるために行ったものです。

今回の調査結果により、限られた財源を更に効果的かつ効率的に配分するために、また、27の政策がより充実し、市民の皆様の満足度が向上するよう活用に努めていきたいと考えております。

今後とも市政運営に対しまして、ご意見ご要望をいただければ幸いに存じます。

垂水市長 尾脇 雅弥

目 次

I 調査の概要	3
1. 調査の目的	3
2. 調査の設計	3
3. 調査の内容	3～4
4. 調査結果の公表	4
II 調査結果	5
1. 回答者の属性分析	5～6
2. 政策別分析結果	7
■政策別一覧表	8
■基本構想「施策の大綱」別分析結果	9
■平成 21 年度及び平成 23 年度垂水市市民満足度調査との比較分析	10～11
■政策別個表	
(1) 共生・協働による地域づくりの推進	12
(2) 市民の多様な交流と連携の促進	13
(3) 地域を支える人材の育成	14
(4) 子育て支援体制の充実	15
(5) 学校教育の充実	16
(6) 学びあう社会の構築	17
(7) 地域文化の促進・保護・活用	18
(8) 地域保健の充実	19
(9) 高齢者保健福祉の推進	20
(10) 障害者保健福祉の推進	21
(11) 医療体制の充実	22
(12) 地域防災対策の推進	23
(13) 安心安全な地域社会の構築	24
(14) 快適な都市基盤の整備	25
(15) 循環型社会の構築	26
(16) 環境の保全	27
(17) 地域資源の活用	28
(18) 魅力ある農林業の振興	29
(19) 魅力ある水産業の振興	30
(20) 活気ある商工業の振興	31
(21) 働く環境の充実	32
(22) 魅力ある観光の振興	33
(23) 市民参画による行政経営	34
(24) 市民の目線による行政経営	35
(25) 市民の期待に応える職員の育成	36
(26) 行政改革の推進	37
(27) 財政運営の健全化	38
27 政策評価エリア集合図	39
3. 今後の居住志向	40～42
4. 平成 24 年度市民満足度調査総括	43～46

I 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、市内に在住する18歳以上の市民を対象として、第4次垂水市総合計画基本計画に基づく27の政策について、「重要度」及び「満足度」を調査し、現在の市民ニーズがどこにあるのかを見極め、今後の市政展開の参考にし、市民主役の行政を実践するための資料とする。

また、特に今回は、第4次垂水市総合計画基本計画の中間見直し時期にあたり、政策検証を行うため、その基礎資料としての位置付けも加えた。

今後、今回の調査結果を有意義なものとするため、限られた財源をいかに効果的かつ効率的に資源配分するかなど、各種計画や予算等に反映し、行政サービスに対する市民の満足度が向上するよう努めるものとする。

2. 調査の設計

本調査の設計は以下のとおりとする。

① 調査地域	市内全域
② 調査対象	市内在住の18歳以上の市民
③ 対象者数	1,000 人
④ 抽出方法	割当法（クォーター法）により実施。 ※振興会ごとに性別、年齢を考慮した標本抽出数を設定し、対象者の人選は振興会長に一任して行う方法。
⑤ 調査方法	・無記名調査 ・政策の5段階評価及び自由記述で構成
⑥ 調査期間	平成24年6月1日（金） ～ 6月14日（木）

3. 調査の内容

(1) 調査の対象

- ①第4次垂水市総合計画基本計画に掲げた27の政策に対する「重要度」及び「満足度」
- ②今後の居住志向（今後も垂水市に住み続けたいと思うか）
- ③市政に対する自由意見

(2) 回答の方法

上記①、②は、それぞれ5段階評価とし、また、その理由について、自由記述とした。また、上記③については、自由記述とした。

(3) 分析の方法

①回答者の属性分析

回答者の属性について、その割合等を集計する。なお、調査の信頼度、回収率の検証も行う。

②政策別分析

政策別に重要度、満足度、ニーズ値（重要度－満足度の数値）の平均値及びその標準偏差を算出し、全政策との相対的な評価を行う。また、回答者属性ごとにクロス集計を行い、属性項目単位の相対順位等を算出する。

また、自由意見は、政策ごとに記入された意見の種別やキーワード等を分類し、その傾向を分析する。

これらの分析結果をもとに考察を行い、最終的に評価結果としてまとめる。

③平成23年度及び平成24年度垂水市市民満足度調査の比較分析

平成23年度垂水市市民満足度調査及び平成24年度垂水市市民満足度調査の政策別の重要度、満足度、ニーズ値（重要度－満足度の数値）の差及び順位の変動を算出する。また相対評価及び評価エリアの変動を比較する。

④第4次垂水市総合計画基本構想「施策の大綱」別分析

同基本構想「施策の大綱」に掲げた「基本目標」及び「重点目標」別に重要度、満足度、ニーズ値の平均値、標準偏差及び相対順位等を算出する。

⑤今後の居住志向に対する分析

回答状況及び属性ごとのクロス集計結果を分析し、また、自由意見を整理するなどして、評価・分析まとめを行う。

⑥平成24年度垂水市市民満足度調査の総括

市民満足度調査結果から見える総括として整理する。なお、従来どおり、前回調査時点における重点政策に対する検証も行う。

⑦市政全般に関する自由意見 ※

記入された意見については、今後の市政運営に対して貴重な意見であることから、その意見に適切に対応することができるよう担当課別にまとめる。

なお、この項目は、別途「平成24年度市民満足度調査結果報告書 資料集」としてまとめる。

4. 調査結果の公表

調査の結果については、本報告書を市役所情報公開室及びホームページにおいて公開する。

II 調査結果

1. 回答者の属性分析

(1) 調査方法

今回の市民満足度調査は、標本数を1,000件とし、標本抽出は「割当法」とした。

平成21、23年度に実施した市民満足度調査は、標本数は1,000件、標本抽出を住民基本台帳から層化無作為抽出で行い、調査方法は、調査票の配布のみを振興会長に依頼し、調査票の回収は郵送（受取人払い）としていた。

この結果、回収した標本数（回収率）は平成21年度が329件（32.9%）、平成23年度が355件（35.5%）であり、統計学的に必要な標本の確保が行われなかった。

これは調査対象者が住民基本台帳から抽出されるため、様々な理由で不在のことが多く、調査票が調査対象者に届かなかったこと、また、調査票の回収が郵送であったことから、なかなか調査にご協力いただけなかったことが課題と推定される。

このため、今回の調査は、効率的で効果的な標本の回収が行えるよう改善を図った。

まず、標本の抽出法は「割当法」を採用した。これは、あらかじめ振興会ごとの性別と年齢構成に応じた調査対象者数を設定しておき、振興会長が条件に合った対象者に調査の依頼を行うもので、可能な限り、無作為抽出に近付けるため、対象者の人選は、毎年変わる班長世帯を推奨するなどの調査の精度を高める工夫を行った。

回収方法は、事前に垂水市振興会長連絡協議会の協力を得て、振興会長が直接回収を行う方法とした。

※割当法：非確率標本の抽出法の一つ。性別・年齢・地域別に母集団に比例するよう標本数を割り当て、調査員が条件にあった対象者を選ぶ方法。市場調査の主流を占める調査法である。

(2) 標本回収数／回収率

今回の標本回収数（回収率）は、973件（97.3%）となった。

(3) 各カテゴリ内の属性分析結果について

①男女別：男女の回答割合は、女性が男性より、5.3ポイント高い結果となった。

項目	配布数(割合)	回答者数(割合)
男	500 (50.0%)	438 (45.0%)
女	500 (50.0%)	489 (50.3%)
未記入等	—	46 (4.7%)
合計	1,000 (100%)	973 (100%)

②年齢別：概ね当初の設定割合どおりとなった。

項目	配布数(割合)	回答者数(割合)
若年層／18～39歳	199 (19.9%)	168 (17.3%)
壮年層／40～59歳	296 (29.6%)	300 (30.8%)
高年層／60歳以上	505 (50.5%)	471 (48.4%)
未記入等	—	34 (3.5%)
合計	1,000 (100%)	973 (100%)

③職業別：回答者は、無職22%、会社員20%、以下パート、専業主婦、自営業が10%を超えている。公務員、農林水産業、学生の割合が低い。

項目	回答者数 (割合)
会社員	195 (20.0%)
自営業	125 (12.8%)
公務員	24 (2.5%)
農林水産業	63 (6.5%)
パート・アルバイト	134 (13.8%)
専業主婦 (主夫)	134 (13.8%)
学生	2 (0.2%)
無職	216 (22.2%)
その他	42 (4.3%)
未記入等	38 (3.9%)
合計	973 (100%)

④地区別：回収率が高かったことから概ね当初の設定割合どおりとなった。

項目	配布数(割合)	回答者数 (割合)
新城・柁原地区	160 (16.0%)	158 (16.2%)
垂水地区	470 (47.0%)	458 (47.1%)
水之上・大野地区	110 (11.0%)	110 (11.3%)
協和地区	120 (12.0%)	117 (12.0%)
牛根地区全域	140 (14.0%)	130 (13.4%)
未記入等	—	0 (0.0%)
合計	1,000 (100%)	973 (100%)

⑤居住年数別：回答者の約4人に1人が居住年数20年以上となった。また、居住年数10年未満も1割占めている。

項目	回答者数 (割合)
5年未満	50 (5.1%)
5～10年	49 (5.0%)
10～20年	115 (11.8%)
20年以上	719 (73.9%)
未記入等	40 (4.1%)
合計	973 (100%)

2. 政策別分析結果

第4次垂水市総合計画基本計画に掲げている27の政策について、政策別に重要度、満足度の平均値及び標準偏差を算出した。なお、この2つの数値だけでは、市民ニーズが詳細に把握できないことから、平成21、23年度に引き続きニーズ値として、重要度と満足度の差を設定した。これは、この差が大きいほど、重要度と満足度とのかい離があり、早急な改善や対策等を図る必要性を示したものとしている。

相対評価は、それぞれの政策の重要度と満足度の平均値と全ての重要度と満足度の全体平均値との比較である。

この相対評価の評価指標の説明は次のとおりである。

- ◎Ⅰ：重要度・満足度とも平均値より高い項目
- ◎Ⅱ：重要度は平均値より高いが、満足度の平均値が低い項目
- ◎Ⅲ：重要度の平均値は低いが、満足度の平均値は高い項目
- ◎Ⅳ：重要度・満足度とも平均値より低い項目

また、評価エリアは、分析結果表内のプロット図にあるように4つのエリアに分け、当該政策の重要度とニーズ値の相関関係を示した。

この4つのエリアの説明は次のとおりである。

- ◎Aエリア：重要度もニーズも高い / 優先して改善を要する項目
- ◎Bエリア：ニーズ値は高いが重要度は低い / 現状維持またはあり方を検討する項目
- ◎Cエリア：重要度は高いがニーズは低い / 現在の水準を維持する項目
- ◎Dエリア：重要度もニーズも低い / 改善の必要性が低い項目

ニーズ分析は、回答者属性ごとにクロス集計を行い、属性項目単位の相対順位を求めている。項目単位の数字は、同じカテゴリ内（男女別、年齢別等）の属性別（男女別であれば「男」「女」のこと）のニーズ値の高い順位を表している。

また、属性単位の数字は、その属性内において、当該政策のニーズ値が全政策で何位であるかを示したものである。なお、ニーズ値が平均以上の場合は、○付き数字で表記している。

これらのデータをもとに考察したデータの傾向を特記事項にまとめている。

自由意見については、記入された意見を意見の種別で分類し、また、内容をキーワードに置き換え、その傾向を記した。（なお、意見の詳細は「資料集」参照のこと）

評価結果については、これまでの分析結果をもとに今後取り組む政策推進の方向性について、まとめたものである。

標準偏差について

標準偏差は、統計値や確率変数の散らばり具合（ばらつき）を表す数値のひとつ。

例えば、3人の回答が全て同じ回答（全員が3と回答した場合）の平均値は3.0で、標準偏差はばらつきがないので0となるが、3人の回答がそれぞれ「1/3/5」の場合、平均値は同じく3.0であるが、標準偏差は1.63となる。

■政策別一覧表／重要度・満足度・ニーズ値／平均値・標準偏差・相対順位・相対評価・評価エリア

No.	政策名	重要度				満足度				相対評価	ニーズ値		評価 エリア
		平均値	平均値－ 全体平均	相対 順位	標準 偏差	平均値	平均値－ 全体平均	相対 順位	標準 偏差		重要度－ 満足度	相対 順位	
1	共生・協働による 地域づくりの推進	4.050	-0.222	24	0.85	3.083	-0.003	15	0.76	IV	0.967	20	D
2	市民の多様な交流 と連携の促進	4.084	-0.188	21	0.83	3.180	0.094	11	0.79	III	0.904	23	D
3	地域を支える人材 の育成	4.243	-0.029	15	0.82	3.042	-0.044	18	0.81	IV	1.201	13	B
4	子育て支援体制の 充実	4.466	0.194	6	0.73	3.124	0.038	13	0.88	I	1.342	6	A
5	学校教育の充実	4.535	0.263	4	0.68	3.253	0.167	5	0.87	I	1.282	9	A
6	学びあう社会の構 築	3.966	-0.306	26	0.83	3.167	0.081	12	0.73	III	0.799	26	D
7	地域文化の促進・ 保護・活用	3.974	-0.298	25	0.87	3.181	0.095	10	0.77	III	0.793	27	D
8	地域保健の充実	4.454	0.182	7	0.72	3.467	0.381	1	0.90	I	0.987	19	C
9	高齢者保健福祉の 推進	4.494	0.222	5	0.70	3.258	0.172	4	0.90	I	1.236	12	A
10	障害者保健福祉の 推進	4.341	0.069	11	0.76	3.068	-0.018	16	0.74	II	1.273	10	A
11	医療体制の充実	4.663	0.391	1	0.62	3.113	0.027	14	1.03	I	1.550	3	A
12	地域防災対策の推 進	4.633	0.361	2	0.61	3.226	0.140	6	0.87	I	1.407	5	A
13	安心安全な地域社 会の構築	4.438	0.166	8	0.71	3.199	0.113	8	0.80	I	1.239	11	A
14	快適な都市基盤の 整備	4.160	-0.112	19	0.82	3.011	-0.075	19	0.83	IV	1.149	15	D
15	循環型社会の構築	4.262	-0.010	14	0.80	3.295	0.209	3	0.89	III	0.967	20	D
16	環境の保全	4.291	0.019	12	0.74	3.194	0.108	9	0.80	I	1.097	16	C
17	地域資源の活用	4.160	-0.112	19	0.82	3.225	0.139	7	0.77	III	0.935	22	D
18	魅力ある農林業の 振興	4.082	-0.190	22	0.86	2.996	-0.090	20	0.74	IV	1.086	17	D
19	魅力ある水産業の 振興	4.189	-0.083	17	0.80	3.324	0.238	2	0.74	III	0.865	25	D
20	活気ある商工業の 振興	4.190	-0.082	16	0.80	2.992	-0.094	21	0.84	IV	1.198	14	B
21	働く環境の充実	4.579	0.307	3	0.67	2.467	-0.619	27	0.88	II	2.112	1	A
22	魅力ある観光の振 興	4.269	-0.003	13	0.79	2.978	-0.108	22	0.86	IV	1.291	8	B
23	市民参画による行 政経営	3.786	-0.486	27	0.86	2.893	-0.193	24	0.66	IV	0.893	24	D
24	市民の目線による 行政経営	4.052	-0.220	23	0.85	3.059	-0.027	17	0.82	IV	0.993	18	D
25	市民の期待に応え る職員の育成	4.415	0.143	10	0.76	2.711	-0.375	26	0.98	II	1.704	2	A
26	行政改革の推進	4.166	-0.106	18	0.82	2.860	-0.226	25	0.79	IV	1.306	7	B
27	財政運営の健全化	4.435	0.163	9	0.75	2.938	-0.148	23	0.81	II	1.497	4	A
	平均値	4.272				3.086					1.186		

■基本構想「施策の大綱」別分析結果

重要度・満足度・ニーズ値／平均値・標準偏差・相対順位・相対評価・評価エリア

No.	基本目標・重点目標	重要度				満足度				相対評価	ニーズ値		評価エリア
		平均値	平均値－全体平均	相対順位	標準偏差	平均値	平均値－全体平均	相対順位	標準偏差		重要度－満足度	相対順位	
	全回答（全体平均）	4.272				3.086					1.186		
◎基本目標別													
1	住民による住民のためのまちをつくる	4.188	-0.084	3	0.83	3.147	0.061	2	0.81	III	1.041	4	D
2	安心して暮らせるまちをつくる	4.453	0.181	1	0.73	3.192	0.106	1	0.88	I	1.261	2	A
3	環境と経済が共存し、循環していくまちをつくる	4.252	-0.020	2	0.80	3.060	-0.026	3	0.86	IV	1.192	3	B
4	市民を大切にするまちをつくる	4.170	-0.102	4	0.85	2.892	-0.194	4	0.83	IV	1.278	1	B
●重点目標別													
1-1	自立した地域をつくるために	4.125	-0.147	7	0.84	3.102	0.016	5	0.79	III	1.023	7	D
1-2	学びあえる地域をつくるために	4.236	-0.036	6	0.82	3.181	0.095	3	0.82	III	1.055	6	D
2-1	生きがいを持ち、健康に暮らすために	4.487	0.215	1	0.71	3.228	0.142	2	0.91	I	1.259	4	A
2-2	暮らしの安全を守るために	4.408	0.136	2	0.75	3.144	0.058	4	0.84	I	1.264	3	A
3-1	自然と共生していくために	4.237	-0.035	5	0.79	3.238	0.152	1	0.82	III	0.999	8	D
3-2	経済が持続発展していくために	4.261	-0.011	4	0.81	2.952	-0.134	6	0.86	IV	1.309	2	B
4-1	市民から信頼される行政経営のために	4.084	-0.188	8	0.87	2.888	-0.198	8	0.84	IV	1.196	5	B
4-2	無駄のない行政経営のために	4.300	0.028	3	0.80	2.899	-0.187	7	0.80	II	1.401	1	A

凡例

◎相対評価

- I : 重要度・満足度とも平均値より高い項目
- II : 重要度は平均値より高いが、満足度の平均値が低い項目
- III : 重要度の平均値は低い、満足度の平均値は高い項目
- IV : 重要度・満足度とも平均値より低い項目

◎評価エリア

- A : 重要度もニーズも高い / 優先して改善を要する項目
- B : ニーズ値は高いが重要度は低い / 現状維持またはあり方を検討する項目
- C : 重要度は高いがニーズは低い / 現在の水準を維持する項目
- D : 重要度もニーズも低い / 改善の必要性が低い項目

■これまでの垂水市市民満足度調査結果との比較分析／H21, H23, H24

NO.	政策名		重要度		満足度		二一ズ値		相対評価	評価エリア	比較
			平均値	相対順位	平均値	相対順位	平均値	相対順位			
1	共生・協働による地域づくりの推進	H24	4.050	24	3.083	15	0.967	20	IV	D	満足度の相対順位が上がっているが、重要度の相対順位が下がっているため、成果が見られない。
		H23	4.061	22	3.106	22	0.954	16	IV	D	
		H21	4.191	16	3.315	15	0.876	21	IV	D	
		前年差	-0.011	-2	-0.023	7	0.013	-4			
2	市民の多様な交流と連携の促進	H24	4.084	21	3.180	11	0.904	23	III	D	満足度の相対順位が上がり、二一ズ値の数値や相対順位が改善されているので、成果が見られた。
		H23	4.188	15	3.239	13	0.949	17	III	D	
		H21	4.251	13	3.316	14	0.935	16	IV	D	
		前年差	-0.104	-6	-0.059	2	-0.045	-6			
3	地域を支える人材の育成	H24	4.243	15	3.042	18	1.201	13	IV	B	二一ズ値の数値が上がり、評価エリアがD→Bになるなど、成果が見られない。
		H23	4.121	18	3.160	17	0.961	15	IV	D	
		H21	4.220	14	3.283	20	0.936	15	IV	D	
		前年差	0.122	3	-0.118	-1	0.240	2			
4	子育て支援体制の充実	H24	4.466	6	3.124	13	1.342	6	I	A	重要度、二一ズ値は相対的に高いが、満足度は若干向上しているため、一定の事業成果が見られる。
		H23	4.379	10	3.188	16	1.191	5	II	A	
		H21	4.599	4	3.336	12	1.263	3	I	A	
		前年差	0.087	4	-0.064	3	0.151	-1			
5	学校教育の充実	H24	4.535	4	3.253	5	1.282	9	I	A	重要度、満足度、ともに数値、相対順位が大きく上がっているため、一定の成果が見られる。
		H23	4.362	11	3.227	15	1.134	7	II	A	
		H21	4.474	7	3.295	18	1.179	4	II	A	
		前年差	0.173	7	0.026	10	0.148	-2			
6	学びあう社会の構築	H24	3.966	26	3.167	12	0.799	26	III	D	重要度、二一ズ値は低い、満足度が中位であることから一定の成果が見られる。
		H23	3.954	25	3.234	14	0.720	26	III	D	
		H21	4.128	23	3.415	7	0.713	25	III	D	
		前年差	0.012	-1	-0.067	2	0.079	0			
7	地域文化の促進・保護・活用	H24	3.974	25	3.181	10	0.793	27	III	D	二一ズ値の相対順位は低い、重要度が若干上がっていることから一定の成果が見られる。
		H23	3.905	26	3.294	10	0.610	27	III	D	
		H21	4.053	26	3.514	4	0.539	27	III	D	
		前年差	0.069	1	-0.113	0	0.183	0			
8	地域保健の充実	H24	4.454	7	3.467	1	0.987	19	I	C	満足度の相対順位は前回に引き続き1位であることから、事業成果が認められる。
		H23	4.469	4	3.633	1	0.836	24	I	C	
		H21	4.586	5	3.742	1	0.844	22	I	C	
		前年差	-0.015	-3	-0.166	0	0.151	5			
9	高齢者保健福祉の推進	H24	4.494	5	3.258	4	1.236	12	I	A	重要度、満足度、ともに相対順位は高いが、二一ズ値の相対順位が下がるなど成果が見られる。
		H23	4.573	3	3.463	4	1.110	9	I	A	
		H21	4.607	3	3.465	6	1.142	6	I	A	
		前年差	-0.079	-2	-0.205	0	0.126	-3			
10	障害者保健福祉の推進	H24	4.341	11	3.068	16	1.273	10	II	A	相対評価がI→IIで満足度の相対順位も下がっているが、二一ズ値の相対順位も下がっているため、一定の成果は見られる。
		H23	4.387	8	3.241	12	1.147	6	I	A	
		H21	4.408	11	3.343	11	1.065	8	I	A	
		前年差	-0.046	-3	-0.173	-4	0.126	-4			
11	医療体制の充実	H24	4.663	1	3.113	14	1.550	3	I	A	重要度の相対順位は前回に引き続き1位である。満足度の数値及び相対順位が大きく下がったので、成果が見られない。
		H23	4.676	1	3.408	6	1.269	3	I	A	
		H21	4.752	1	3.371	9	1.382	2	I	A	
		前年差	-0.013	0	-0.295	-8	0.281	0			
12	地域防災対策の推進	H24	4.633	2	3.226	6	1.407	5	I	A	重要度、二一ズ値の相対順位は高いが、満足度も比較的高いため、一定の成果は見られる。
		H23	4.656	2	3.458	5	1.198	4	I	A	
		H21	4.678	2	3.711	2	0.967	11	I	C	
		前年差	-0.023	0	-0.232	-1	0.209	-1			
13	安心安全な地域社会の構築	H24	4.438	8	3.199	8	1.239	11	I	A	満足度の数値が下がり、評価エリアがC→Aになるなど、成果が見られない。
		H23	4.462	5	3.480	3	0.982	13	I	C	
		H21	4.543	6	3.629	3	0.914	18	I	C	
		前年差	-0.024	-3	-0.281	-5	0.257	2			
14	快適な都市基盤の整備	H24	4.160	19	3.011	19	1.149	15	IV	D	重要度、満足度、ともに大きく数値や相対順位を下げたことから、成果が見られない。
		H23	4.387	9	3.327	8	1.059	10	I	A	
		H21	4.425	9	3.475	5	0.950	12	I	C	
		前年差	-0.227	-10	-0.316	-11	0.090	-5			

NO.	政策名		重要度		満足度		ニーズ値		相対評価	評価エリア	比較
			平均値	相対順位	平均値	相対順位	平均値	相対順位			
15	循環型社会の構築	H24	4.262	14	3.295	3	0.967	20	III	D	重要度は大きく下げているが、満足度の相対順位が高いので、現在の取り組みは評価されている。
		H23	4.407	6	3.522	2	0.885	21	I	C	
		H21	4.353	12	3.408	8	0.946	14	I	C	
		前年差	-0.145	-8	-0.227	-1	0.082	1			
16	環境の保全	H24	4.291	12	3.194	9	1.097	16	I	C	特に大きな変化は見られない。
		H23	4.262	12	3.339	7	0.923	20	I	C	
		H21	4.451	8	3.367	10	1.084	7	I	A	
		前年差	0.029	0	-0.145	-2	0.174	4			
17	地域資源の活用	H24	4.160	20	3.225	7	0.935	22	III	D	満足度の相対順位が上がり、ニーズ値が低いことから、成果が見られる。
		H23	4.179	16	3.253	11	0.926	19	III	D	
		H21	4.122	24	3.323	13	0.799	24	IV	D	
		前年差	-0.019	-4	-0.028	4	0.009	-3			
18	魅力ある農林業の振興	H24	4.082	22	2.996	20	1.086	17	IV	D	特に大きな変化は見られない。
		H23	4.003	24	3.130	19	0.873	22	IV	D	
		H21	4.194	15	3.310	16	0.883	20	IV	D	
		前年差	0.079	2	-0.134	-1	0.213	5			
19	魅力ある水産業の振興	H24	4.189	17	3.324	2	0.865	25	III	D	満足度の数値、相対順位が大きくなったことから、成果が見られる。
		H23	4.079	21	3.298	9	0.782	25	III	D	
		H21	4.131	22	3.298	17	0.833	23	IV	D	
		前年差	0.110	4	0.026	7	0.083	0			
20	活気ある商工業の振興	H24	4.190	16	2.992	21	1.198	14	IV	B	重要度の数値が上がり、満足度の相対順位が上がったので、一定の成果が見られる。
		H23	4.081	20	3.044	24	1.037	12	IV	B	
		H21	4.107	25	3.159	23	0.948	13	IV	D	
		前年差	0.109	4	-0.052	3	0.161	-2			
21	働く環境の充実	H24	4.579	3	2.467	27	2.112	1	II	A	満足度の低下、ニーズ値の増加が進んでいるので、成果が見られない。
		H23	4.389	7	2.789	27	1.600	1	II	A	
		H21	4.423	10	2.825	27	1.598	1	II	A	
		前年差	0.190	4	-0.322	0	0.512	0			
22	魅力ある観光の振興	H24	4.269	13	2.978	22	1.291	8	IV	B	重要度、ニーズ値の数値が大きく伸びており、評価エリアはBであるが、改善を図る必要がある。
		H23	4.058	23	3.095	23	0.964	14	IV	D	
		H21	4.136	21	3.111	25	1.025	9	IV	B	
		前年差	0.211	10	-0.117	1	0.327	6			
23	市民参画による行政経営	H24	3.786	27	2.893	24	0.893	24	IV	D	重要度、満足度がそれぞれ低く、成果が見られない。
		H23	3.863	27	3.012	25	0.851	23	IV	D	
		H21	3.835	27	3.133	24	0.702	26	IV	D	
		前年差	-0.077	0	-0.119	1	0.042	-1			
24	市民の目線による行政経営	H24	4.052	23	3.059	17	0.993	18	IV	D	満足度の相対順位が上がり、ニーズ値も改善されているので成果が見られる。
		H23	4.162	17	3.120	21	1.042	11	IV	B	
		H21	4.183	17	3.294	19	0.889	19	IV	D	
		前年差	-0.110	-6	-0.061	4	-0.049	-7			
25	市民の期待に応える職員の育成	H24	4.415	10	2.711	26	1.704	2	II	A	満足度が低く、ニーズ値が2位と高いため、成果が見られない。
		H23	4.226	14	2.895	26	1.332	2	IV	B	
		H21	4.179	18	3.029	26	1.150	5	IV	B	
		前年差	0.189	4	-0.184	0	0.372	0			
26	行政改革の推進	H24	4.166	18	2.860	25	1.306	7	IV	B	満足度が低く、ニーズ値が高いため、成果が見られない。
		H23	4.082	19	3.149	18	0.933	18	IV	D	
		H21	4.140	20	3.208	21	0.932	17	IV	D	
		前年差	0.084	1	-0.289	-7	0.373	11			
27	財政運営の健全化	H24	4.435	9	2.938	23	1.497	4	II	A	満足度が低く、重要度、ニーズ値が高いため、成果が見られない。
		H23	4.243	13	3.128	20	1.116	8	IV	B	
		H21	4.164	19	3.189	22	0.975	10	IV	D	
		前年差	0.192	4	-0.190	-3	0.381	4			
全体		H24	4.272	-	3.086	-	1.186	-	-	-	-
		H23	4.246	-	3.232	-	1.014	-	-	-	
		H21	4.311	-	3.330	-	0.980	-	-	-	
		前年差	0.026	-	-0.146	-	0.172	-	-	-	

■政策別分析結果

2. 市民の多様な交流と連携の促進

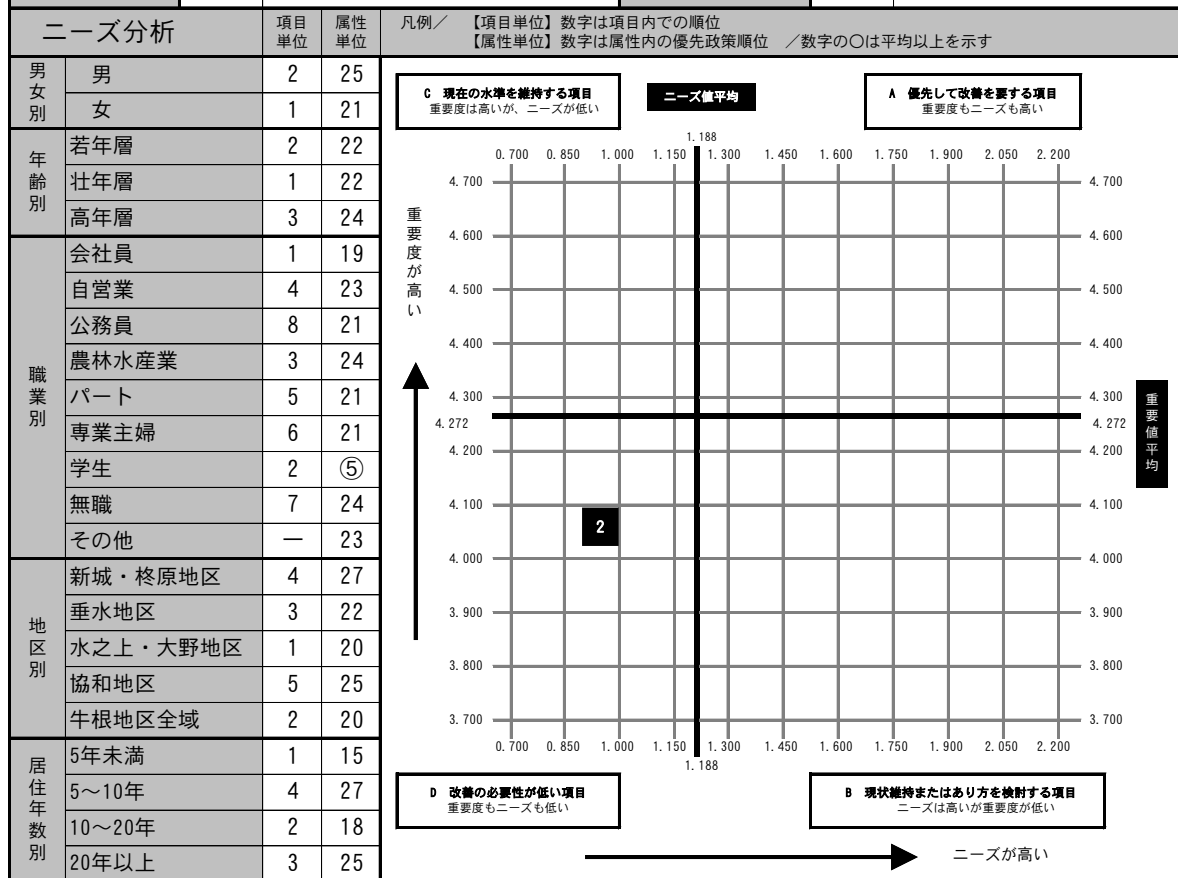
【政策の概要】

目標の考え方	市民や各種団体、行政が持つ情報はそれぞれに価値があり、その情報がお互いで共有されれば、様々な課題の解決や地域の活性化につながることから、多様な交流と連携に対する取り組みを進めます。特に防災対策、高齢者の生活支援、生活環境の保全、子育て支援などに対して、地域や団体間の交流を深め、支えあい、連携しあう取り組みを進めます。	
目指すイメージ	<ul style="list-style-type: none"> ●地域の課題が地域内で共有され、地域で解決できる力があります ●地域内交流が進み、支えあいができています 	
施策の方向	<ul style="list-style-type: none"> ●市民参加の意識向上 ●公民館活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ●団体間ネットワークの充実

【分析結果】

	平均値	標準偏差	相対順位	備考
重要度	4.084	0.83	21	全体平均値：4.272
満足度	3.180	0.79	11	全体平均値：3.086
ニーズ値	0.904	—	23	全体平均値：1.186 ※ニーズ値＝重要度－満足度

相対評価	III	重要度は低い、満足度は高い項目	評価エリア	D	改善の必要性が低い項目
------	-----	-----------------	-------	---	-------------



特記事項	●ニーズ分析は全体的に全ての項目での数値が低い。 ※学生は標本数が少ない。
自由意見	<ul style="list-style-type: none"> ●記入件数 45件 / うち課題13件・要望10件・提言18件・評価 4件・その他 0件 ●キーワード：振興会統合、地域交流、地域活動等に関する意見が多い。
平成23年度実施分との比較	●満足度の相対順位が上がり、ニーズ値の数値や相対順位が改善されているので、成果が見られた。
評価結果	●一定の成果が認められることから現状の取り組みを継続していく必要がある。

■政策別分析結果

3. 地域を支える人材の育成

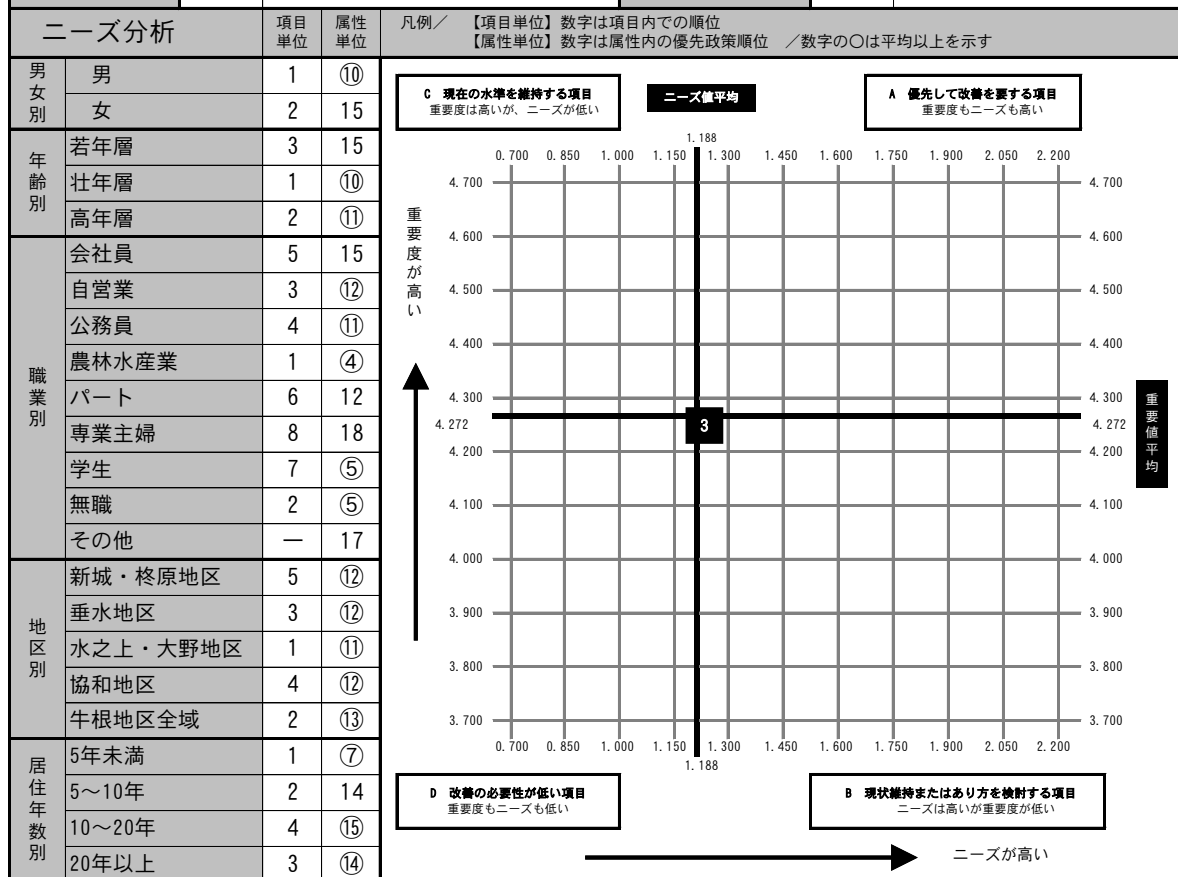
【政策の概要】

目標の考え方	地域活動に気軽に参加できる環境づくりと、活動の中心となる地域活力の向上に必要な人材の発掘・育成に取り組みます。また、特色のある地域づくりのために、郷土をより深く学ぶ取り組みを進めます。	
目指すイメージ	●一人ひとりがふるさとの良さを知り、郷土への愛着が育まれています	
施策の方向	●ふるさとを学ぶ学習機会の充実 ●人材の発掘、確保	●リーダー育成

【分析結果】

	平均値	標準偏差	相対順位	備考
重要度	4.243	0.82	15	全体平均値：4.272
満足度	3.042	0.81	18	全体平均値：3.086
ニーズ値	1.201	—	13	全体平均値：1.186 ※ニーズ値=重要度-満足度

相対評価	IV	重要度・満足度とも低い項目	評価エリア	B	現状維持またはあり方を検討する項目
------	----	---------------	-------	---	-------------------



特記事項	●ニーズ分析は年齢別の「若年層」が低く、居住年数別の「5年未満」が高い。
自由意見	●記入件数 46件／うち課題13件・要望16件・提言13件・評価 2件・その他 2件 ●キーワード：リーダー育成、キラリ人の活用・周知に関する意見が多い。
平成23年度実施分との比較	●ニーズ値の数値が上がり、評価エリアがD→Bになるなど、成果が見られない。
評価結果	●人材育成は、他政策推進の基盤となるべきものでもあり、満足度を高められるよう工夫して取り組みを進めていく必要がある。

■政策別分析結果

4. 子育て支援体制の充実

【政策の概要】

目標の考え方	本市の恵まれた自然や歴史・文化の中で、心身ともに健全な子どもとして育つため、そして心豊かな人間性を持った次世代の親として育つためには、子どもだけでなく、親や家族とともに育っていきける環境づくりを進めるとともに、地域の果たす役割も大きいという認識のもと、地域や職場など社会が一体となって子育てを支援していくよう取り組みます。
目指すイメージ	●家庭、学校、地域の連携が強化され、地域全体で子育てを支援しています ●安心して子どもを産み、育てる環境になっています
施策の方向	●子育て環境の整備、支援 ●母子保健の推進 ●青少年の健全育成

【分析結果】

		平均値	標準偏差	相対順位	備考
重要度		4.466	0.73	6	全体平均値：4.272
満足度		3.124	0.88	13	全体平均値：3.086
ニーズ値		1.342	—	6	全体平均値：1.186 ※ニーズ値＝重要度－満足度
相対評価		I	重要度・満足度とも高い項目	評価エリア	A 優先して改善を要する項目
ニーズ分析		項目単位	属性単位	凡例／【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位 / 数字の○は平均以上を示す	
男女別	男	1	⑥		
男女別	女	2	⑥		
年齢別	若年層	1	③		
	壮年層	2	⑦		
	高年層	3	⑬		
職業別	会社員	4	⑨		
	自営業	3	⑧		
	公務員	1	③		
	農林水産業	6	15		
	パート	2	⑤		
	専業主婦	5	⑦		
	学生	8	⑤		
	無職	7	⑪		
その他	—	④			
地区別	新城・柘原地区	5	⑨		
	垂水地区	2	⑤		
	水之上・大野地区	1	④		
	協和地区	4	⑪		
	牛根地区全域	3	⑦		
居住年数別	5年未満	1	②		
	5～10年	2	⑤		
	10～20年	4	⑩		
	20年以上	3	⑦		
特記事項	●ニーズ分析は年齢別で「若年層」、地区別で「水之上・大野、垂水地区」、居住年数別で「5年未満」が高い。				
自由意見	●記入件数 65件／うち課題24件・要望26件・提言 4件・評価 7件・その他 4件 ●キーワード：子育て環境整備、子育てサービスの充実に関する意見が多い。				
平成23年度実施分との比較	●重要度、ニーズ値は相対的に高いが、満足度は若干向上しているため、一定の事業成果が見られる。				
評価結果	●重要度が高くなったことから更に事業成果が得られるよう取り組む必要がある。				

■政策別分析結果

5. 学校教育の充実

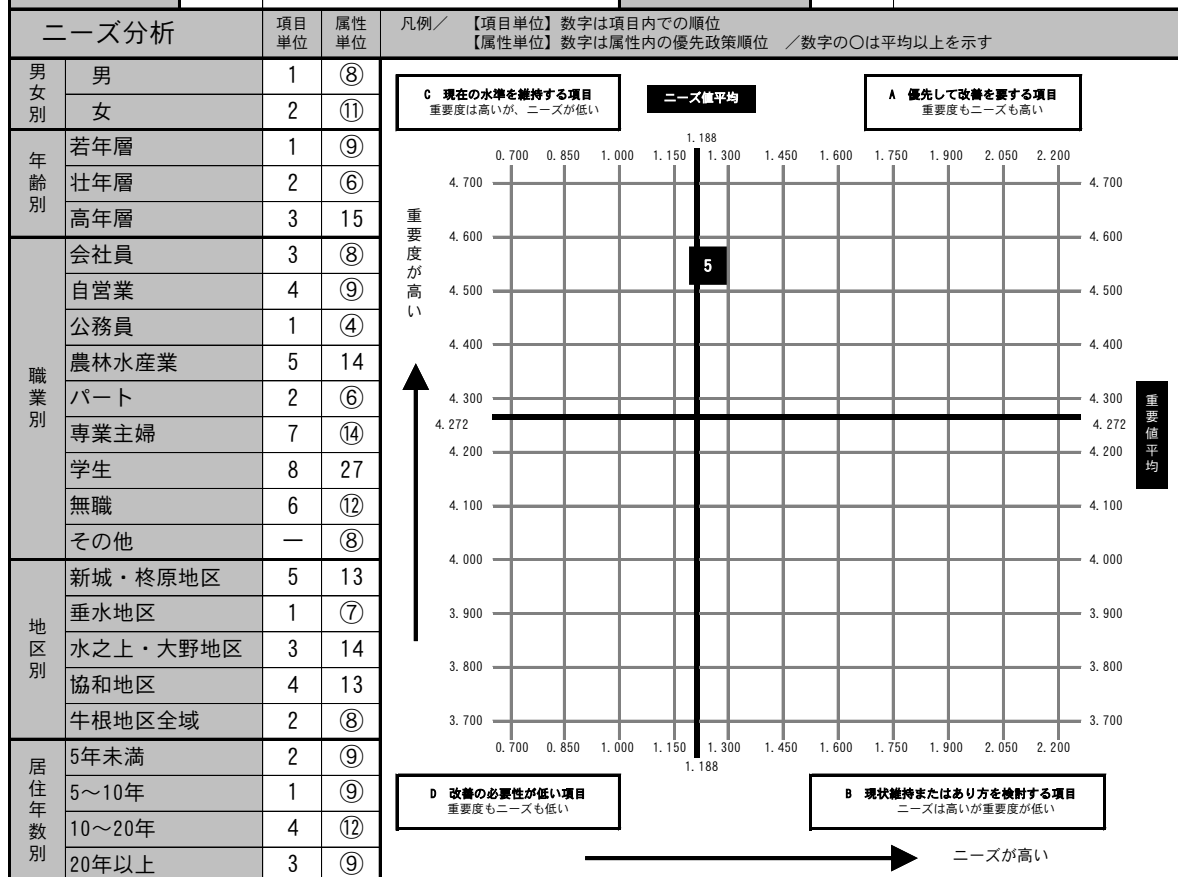
【政策の概要】

目標の考え方	自ら学び自ら考える、たくましく「生きる力」を備えた、子どもを育てるために、教職員一人一人の資質の向上を図り、特色ある開かれた学校づくりを推進します。その中で、垂水の海・山・川などの自然や歴史・文化について地域の人材を活かしながら体験を通して学習し、「ふるさと垂水を愛し、誇りにする子ども」を育成するとともに、垂水の次代を担う子どもたちが生き生きと学べる良好な教育環境の確保に取り組みます	
目指すイメージ	●子どもたちが夢を持ち、いきいきと学んでいます ●施設・設備が整備され、良好な教育環境が保たれています	
施策の方向	●生きる力を育む質の高い教育の推進 ●教育環境整備	●家庭・地域と連携した教育の推進

【分析結果】

	平均値	標準偏差	相対順位	備考
重要度	4.535	0.68	4	全体平均値：4.272
満足度	3.253	0.87	5	全体平均値：3.086
ニーズ値	1.282	—	9	全体平均値：1.186 ※ニーズ値＝重要度－満足度

相対評価	I	重要度・満足度とも高い項目	評価エリア	A	優先して改善を要する項目
------	---	---------------	-------	---	--------------



特記事項	●ニーズ分析は年齢別で「壮年層」、地区別で「垂水、牛根地区」が高い。
自由意見	●記入件数 78件/うち課題27件・要望31件・提言 4件・評価10件・その他 6件 ●キーワード：垂水高校振興、教育環境（施設整備・教職員）、垂水らしさなどの意見が多い。
平成23年度実施分との比較	●重要度、満足度、ともに数値、相対順位が大きく上がっているため、一定の成果が見られる。
評価結果	●評価エリアはAであるが、全体的に数値の向上が認められ、また、自由意見についても「評価」が多いことから現状の維持に努めていく必要がある。

■政策別分析結果

6. 学びあう社会の構築

【政策の概要】

目標の考え方	多様化・高度化する学習ニーズに対応し、市民が生涯を通じて主体的に学ぶことができる環境づくりを進めるとともに、市民の誰もが、それぞれの体力や年齢、技術、興味・目的に応じて、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる生涯スポーツ社会の実現など、学びあう社会づくりに取り組みます。	
目指すイメージ	<ul style="list-style-type: none"> ●多くの人が学びあいの場に参加し、学びの成果を暮らしに生かしています ●子どもからお年寄りまで多くの市民が、地域でスポーツに親しみ交流の輪が広がっています 	
施策の方向	<ul style="list-style-type: none"> ●生涯学習の推進 ●社会・生活・自然体験事業の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ●スポーツ・レクリエーション活動の推進

【分析結果】

		平均値	標準偏差	相対順位	備考
重要度		3.966	0.83	26	全体平均値：4.272
満足度		3.167	0.73	12	全体平均値：3.086
ニーズ値		0.799	—	26	全体平均値：1.186 ※ニーズ値＝重要度－満足度
相対評価		Ⅲ	重要度は低い、満足度は高い項目	評価エリア	D 改善の必要性が低い項目
ニーズ分析		項目単位	属性単位	凡例／【項目単位】数字は項目内の順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位 / 数字の○は平均以上を示す	
男女別	男	1	27		
	女	2	26		
年齢別	若年層	2	26		
	壮年層	3	27		
	老年層	1	26		
職業別	会社員	2	25		
	自営業	4	27		
	公務員	7	26		
	農林水産業	6	27		
	パート	3	22		
	専業主婦	8	27		
	学生	1	⑤		
	無職	5	27		
	その他	—	25		
地区別	新城・柘原地区	2	23		
	垂水地区	3	26		
	水之上・大野地区	4	26		
	協和地区	5	27		
	牛根地区全域	1	26		
居住年数別	5年未満	2	24		
	5～10年	1	24		
	10～20年	4	26		
	20年以上	3	26		
特記事項	●重要度と比較し満足度が高いことから、ニーズ分析では全ての階層で低い傾向が見られる。 ※学生は標本数が少ない。				
自由意見	<ul style="list-style-type: none"> ●記入件数 47件／うち課題16件・要望20件・提言 3件・評価 5件・その他 3件 ●キーワード：市民講座、政策の情報提供に関する意見が多い。 				
平成23年度実施分との比較	●重要度、ニーズ値は低い、満足度が中位であることから一定の成果が見られる。				
評価結果	●さらに満足度を高めるよう現状の取り組みを継続していく必要がある。				

■政策別分析結果

7. 地域文化の促進・保護・活用

【政策の概要】

目標の考え方	古くから伝わる歴史民俗文化財や埋蔵文化財、また、郷土の偉人が残した功績は市民共有の財産であり歴史教育の教材です。これらを保存・活用・顕彰することや文化団体の支援、芸術家の育成、良質の芸術文化を提供するなど多様な文化活動を促進することにより郷土愛を育み、ゆとりと活力のある豊かな地域社会の実現を目指します。
目指すイメージ	●城下町として古い町並みや史跡等を多く残し、郷土芸能や年中行事が行われ、近代化した各施設では芸術文化活動が展開されています
施策の方向	●歴史民俗文化財や埋蔵文化財の保存・活用の推進 ●芸術文化活動の推進

【分析結果】

		平均値	標準偏差	相対順位	備考
重要度		3.974	0.87	25	全体平均値： 4.272
満足度		3.181	0.77	10	全体平均値： 3.086
ニーズ値		0.793	—	27	全体平均値： 1.186 ※ニーズ値＝重要度－満足度
相対評価		III	重要度は低いが、満足度は高い項目		評価エリア D 改善の必要性が低い項目
ニーズ分析		項目単位	属性単位	凡例／ 【項目単位】 数字は項目内での順位 【属性単位】 数字は属性内の優先政策順位 / 数字の○は平均以上を示す	
男女別	男	1	26	<p>C 現在の水準を維持する項目 重要度は高いが、ニーズが低い</p> <p>A 優先して改善を要する項目 重要度もニーズも高い</p> <p>D 改善の必要性が低い項目 重要度もニーズも低い</p> <p>B 現状維持またはあり方を検討する項目 ニーズは高いが重要度が低い</p> <p>ニーズ値平均: 1.186</p> <p>重要度平均: 4.272</p>	
	女	2	27		
年齢別	若年層	3	27		
	壮年層	2	26		
	高年層	1	27		
職業別	会社員	5	27		
	自営業	2	26		
	公務員	8	27		
	農林水産業	3	26		
	パート	7	26		
	専業主婦	6	26		
	学生	1	5		
	無職	4	25		
	その他	—	27		
地区別	新城・柘原地区	1	22		
	垂水地区	2	27		
	水之上・大野地区	5	27		
	協和地区	4	26		
	牛根地区全域	3	27		
居住年数別	5年未満	2	27		
	5～10年	1	23		
	10～20年	3	25		
	20年以上	4	27		
特記事項	●重要度と比較し満足度が高いことから、ニーズ分析では全ての階層で低い傾向が見られる。 ※学生は標本数が少ない。				
自由意見	●記入件数 48件／うち課題18件・要望20件・提言 1件・評価 8件・その他 1件 ●キーワード：瀬戸コン、文化財の活用に関する意見が多い。				
平成23年度実施分との比較	●ニーズ値の相対順位は低いが、重要度が若干上がっていることから一定の成果が見られる。				
評価結果	●さらに満足度を高めるよう現状の取り組みを継続していく必要がある。				

■政策別分析結果

8. 地域保健の充実

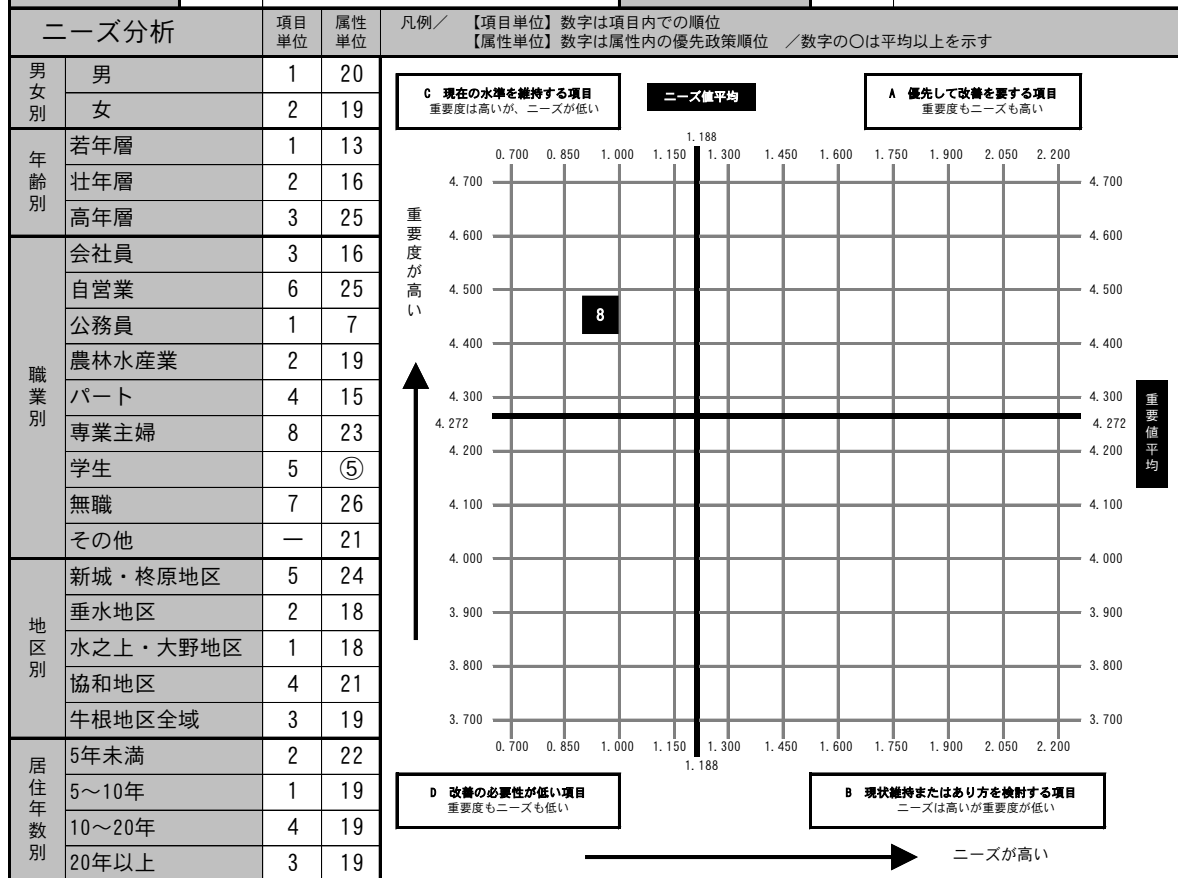
【政策の概要】

目標の考え方	市民が安心して暮らしていくために、生涯を通じた生活習慣病予防やがん予防など、保健事業の推進と保健医療活動の充実に取り組みます。また、生きがいを持つことが健康づくりにつながることから、地域における健康づくり活動や生きがいづくり支援を行い、広く市民の健康増進に努めます。	
目指すイメージ	●一人ひとりが生きがいを持ち、充実した生活を送っています	
施策の方向	●生きがいを支える環境整備 ●食育の体系化と推進	●乳幼児からの生活習慣病予防 ●心の健康づくり

【分析結果】

	平均値	標準偏差	相対順位	備考
重要度	4.454	0.72	7	全体平均値：4.272
満足度	3.467	0.90	1	全体平均値：3.086
ニーズ値	0.987	—	19	全体平均値：1.186 ※ニーズ値＝重要度－満足度

相対評価	I	重要度・満足度とも高い項目	評価エリア	C	現在の水準を維持する項目
------	---	---------------	-------	---	--------------



特記事項 ●ニーズ分析は年齢別で「若年層」が高い。 ※学生は標本数が少ない。

自由意見 ●記入件数 50件／うち課題21件・要望21件・提言 0件・評価 7件・その他 1件
●キーワード：各種検診、予防接種に対する意見が多い。

平成23年度実施分との比較 ●満足度の相対順位は前回に引続き1位であることから、事業成果が認められる。

評価結果 ●満足度が1位でニーズ値が低いこと、また評価エリアがCであることから現状の水準を維持するよう取り組む必要がある。

■政策別分析結果

9. 高齢者保健福祉の推進

【政策の概要】

目標の考え方	高齢者の充実した生活の創造を目指し、生涯現役社会づくりの推進や生活環境の向上に努めるとともに、総合相談体制を充実し、関係機関と連携を密にしながら認知症予防や権利擁護など推進します。また、地域に密着した介護サービスの基盤整備を図り、住み慣れた地域で高齢者が尊厳を持ち、暮らせる地域ケア体制づくりに努めます。	
目指すイメージ	●高齢者への多面的な支援体制が充実し、住み慣れた地域の中で安心して生活できています	
施策の方向	●介護予防の推進 ●介護サービスの充実	●高齢者支援体制の整備

【分析結果】

		平均値	標準偏差	相対順位	備考
重要度		4.494	0.70	5	全体平均値：4.272
満足度		3.258	0.90	4	全体平均値：3.086
ニーズ値		1.236	—	12	全体平均値：1.186 ※ニーズ値＝重要度－満足度
相対評価		重要度・満足度とも高い項目		評価エリア	A 優先して改善を要する項目
ニーズ分析		項目単位	属性単位	凡例／【項目単位】数字は項目内の順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位 / 数字の○は平均以上を示す	
男女別	男	2	14		
	女	1	⑧		
年齢別	若年層	1	⑧		
	壮年層	2	⑫		
	高年層	3	17		
職業別	会社員	1	⑩		
	自営業	5	⑪		
	公務員	3	⑥		
	農林水産業	2	⑪		
	パート	4	⑩		
	専業主婦	6	⑫		
	学生	8	⑤		
	無職	7	16		
	その他	—	16		
地区別	新城・柘原地区	5	16		
	垂水地区	2	⑨		
	水之上・大野地区	1	⑨		
	協和地区	4	14		
	牛根地区全域	3	⑮		
居住年数別	5年未満	1	⑥		
	5～10年	2	17		
	10～20年	3	⑦		
	20年以上	4	⑪		
特記事項	●ニーズ分析は男女別で「女」、年齢別で「若年層」、地区別で「水之上・大野、垂水地区」が高い。 ※学生は標本数が少ない。				
自由意見	●記入件数 44件／うち課題16件・要望15件・提言 6件・評価 5件・その他 2件 ●キーワード：介護の在り方について意見が多い。				
平成23年度実施分との比較	●重要度、満足度、ともに相対順位は高いが、ニーズ値の相対順位が下がるなど成果が見られる。				
評価結果	●評価エリアはAであるが満足度が高いので現状の水準を維持するよう取り組む必要がある。				

■政策別分析結果

10. 障害者保健福祉の推進

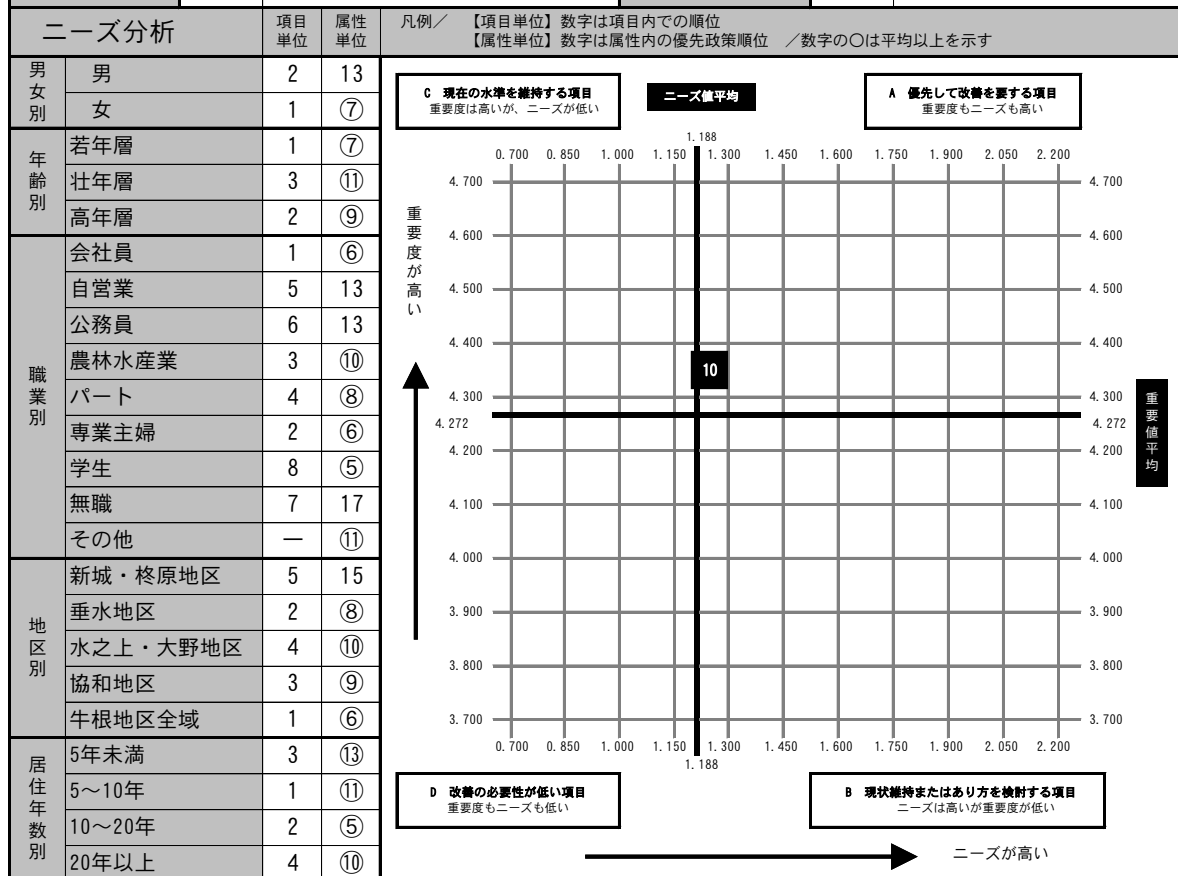
【政策の概要】

目標の考え方	障害者があらゆる分野での社会参加が実現出来ることを基本とし、障害の有無にかかわらず、全ての人が平等に権利と義務を、能力に応じて補い合い、助け合って生きていく地域社会をつくる「ノーマライゼーション」と、障害者の身体的・精神的・社会的な適応能力を回復することにとどまらず、障害者がそれぞれの年代のあらゆる生活段階において、人間らしく生きる権利の回復を図る「リハビリテーション」の理念を具現化していき、全ての市民が生き生きとした生活を送り、共に生き、支え合う社会づくりに取り組みます。
目指すイメージ	●障害のある人が、住み慣れた地域で自立し安心して暮らしています
施策の方向	●自立と社会参加の支援

【分析結果】

	平均値	標準偏差	相対順位	備考
重要度	4.341	0.76	11	全体平均値：4.272
満足度	3.068	0.74	16	全体平均値：3.086
ニーズ値	1.273	—	10	全体平均値：1.186 ※ニーズ値=重要度-満足度

相対評価	II	重要度は高いが、満足度が低い項目	評価エリア	A	優先して改善を要する項目
------	----	------------------	-------	---	--------------



特記事項	●ニーズ分析は地区別で「牛根、垂水地区」が高い。 ※学生は標本数が少ない。
自由意見	●記入件数 31件／うち課題16件・要望 7件・提言 2件・評価 1件・その他 5件 ●キーワード：ノーマライゼーションに関する意見が多い。
平成23年度実施分との比較	●相対評価がⅠ→Ⅱで満足度の相対順位も下がっているが、ニーズ値の相対順位も下がっているため、一定の成果は見られる。
評価結果	●一定の事業成果が認められることから、現状の維持に努めていく必要がある。

■政策別分析結果

11. 医療体制の充実

【政策の概要】

目標の考え方	市民が安心して医療を受けることができるよう、垂水中央病院を核に医師会等との連携を図り、救急医療体制等を構築し、地域医療の確保と医療水準の向上に取り組みます。また、垂水中央病院が中核病院として地域住民に対する24時間体制の医療を提供すること及び保健・医療・福祉の連携により地域住民の健康増進に取り組みます。
目指すイメージ	●地域医療体制が充実され、誰もが安心して医療サービスを受けています
施策の方向	●地域医療体制の充実 ●救急医療体制の充実 ●受診モラルの啓発

【分析結果】

		平均値	標準偏差	相対順位	備考
重要度		4.663	0.62	1	全体平均値：4.272
満足度		3.113	1.03	14	全体平均値：3.086
ニーズ値		1.550	—	3	全体平均値：1.186 ※ニーズ値=重要度-満足度
相対評価		I	重要度・満足度とも高い項目	評価エリア	A 優先して改善を要する項目
ニーズ分析		項目単位	属性単位	凡例／【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位 / 数字の○は平均以上を示す	
男女別	男	2	④	<p>C 現在の水準を維持する項目 重要度は高いが、ニーズが低い</p> <p>A 優先して改善を要する項目 重要度もニーズも高い</p> <p>D 改善の必要性が低い項目 重要度もニーズも低い</p> <p>B 現状維持またはあり方を検討する項目 ニーズが高いが重要度が低い</p> <p>ニーズが高い</p>	
男女別	女	1	③		
年齢別	若年層	1	②		
	壮年層	2	③		
	高年層	3	⑧		
職業別	会社員	3	②		
	自営業	6	⑥		
	公務員	1	②		
	農林水産業	7	⑨		
	パート	4	②		
	専業主婦	5	③		
	学生	2	①		
	無職	8	⑦		
その他	—	⑤			
地区別	新城・柁原地区	5	⑥		
	垂水地区	2	③		
	水之上・大野地区	1	③		
	協和地区	4	⑥		
居住年数別	5年未満	2	③		
	5～10年	1	③		
	10～20年	3	②		
	20年以上	4	④		
特記事項	●重要度が1位であり、ニーズ分析では全ての階層で高い傾向がある。				
自由意見	●記入件数 67件／うち課題37件・要望27件・提言 1件・評価 1件・その他 1件 ●キーワード：垂水中央病院、市全体の医療の在り方、診療科等の意見が多い。				
平成23年度実施分との比較	●重要度の相対順位は前回に引続き1位である。満足度の数値及び相対順位が大きくなったので、成果が見られない。				
評価結果	●自由意見に課題や要望も多く、重要度・ニーズ値が高いため、優先して改善を行う必要がある。				

■政策別分析結果

12. 地域防災対策の推進

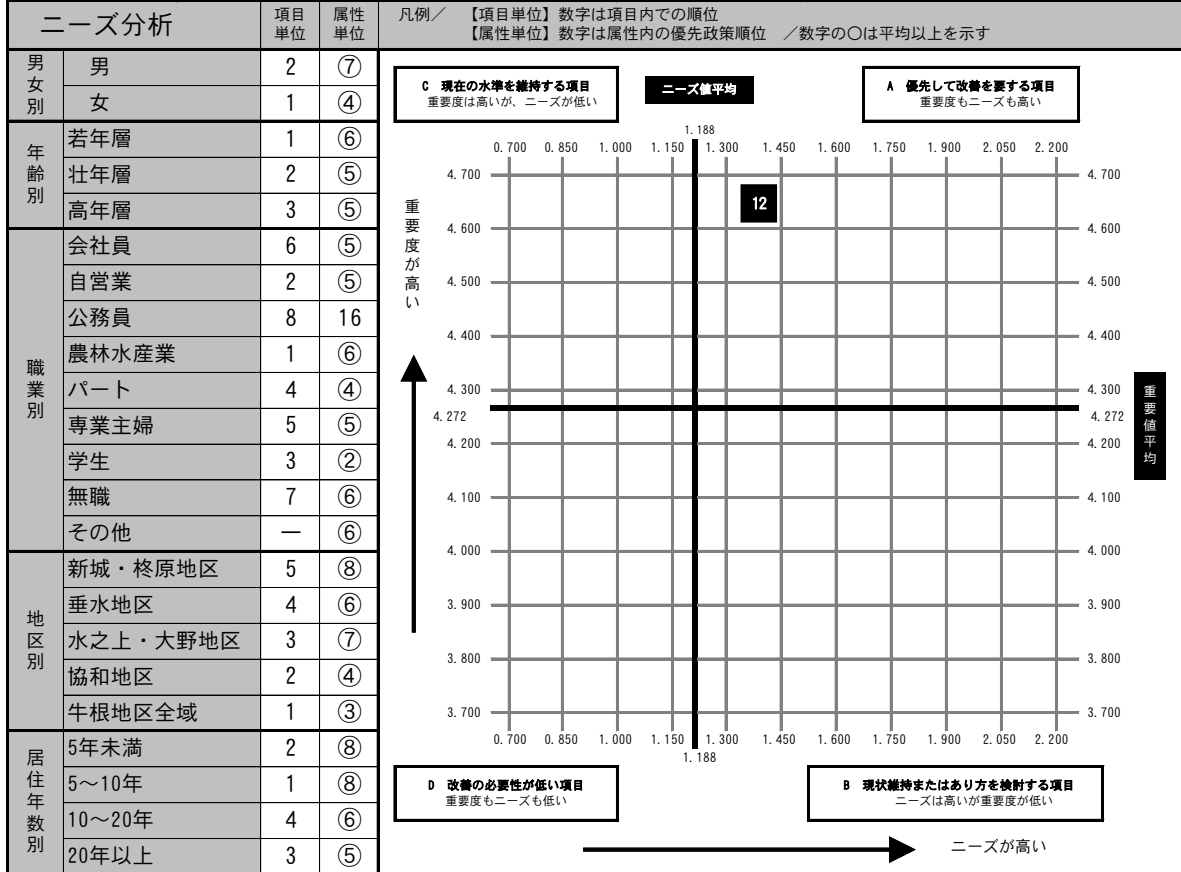
【政策の概要】

目標の考え方	自然災害から市民の生命と財産を守るため、垂水市地域防災計画に基づき、災害の予防、応急対策、復旧・復興対策を進めます。また、大規模な災害に対処するためには、防災関係機関による「公助」だけでなく、自分の身は自分で守る「自助」、地域のことは地域で守る「共助」が重要なことから、地域の防災力の向上に努めるとともに、災害情報の収集や伝達、また、災害時要援護者に配慮した対策に取り組みます。	
目指すイメージ	●市民の防災に対する理解が深まり、災害に対する備えや心構えができています	
施策の方向	●防災体制の整備充実 ●防災意識の醸成	●災害に強い都市基盤の整備 ●自主防災組織の育成と連携の強化

【分析結果】

	平均値	標準偏差	相対順位	備考
重要度	4.633	0.61	2	全体平均値：4.272
満足度	3.226	0.87	6	全体平均値：3.086
ニーズ値	1.407	—	5	全体平均値：1.186 ※ニーズ値=重要度-満足度

相対評価	I	重要度・満足度とも高い項目	評価エリア	A	優先して改善を要する項目
------	---	---------------	-------	---	--------------



特記事項	●ニーズ分析はほぼ全ての階層で高い傾向がある。
自由意見	●記入件数 66件 / うち課題25件・要望26件・提言 8件・評価 4件・その他 3件 ●キーワード：防災訓練、防災情報の在り方に関する意見が多い。
平成23年度実施分との比較	●重要度、ニーズ値の相対順位は高いが、満足度も比較的高いため、一定の成果は見られる。
評価結果	●満足度は高いが重要度、ニーズ値も高く、また、自由意見に課題や要望が寄せられているため、より高い成果を得るよう取り組む必要がある。

■政策別分析結果

13. 安心安全な地域社会の構築

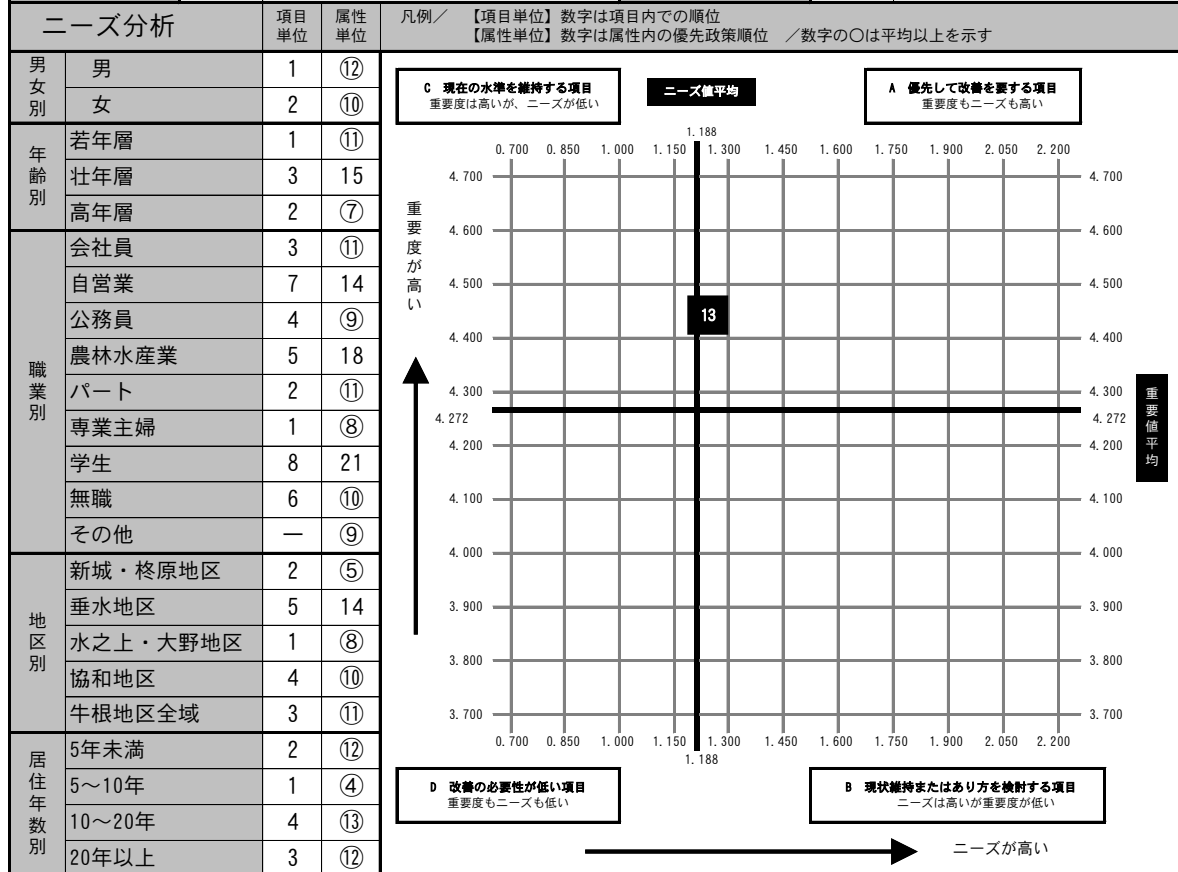
【政策の概要】

目標の考え方	犯罪のない、安全で安心して生活できるまちづくりを進めるために、協働による地域ぐるみの防犯活動の推進、消防機能や各種市民相談体制の充実など、安全で安心して生活できるまちづくりに取り組みます。特に、高齢者に関わる犯罪や事故を未然に防止するため、高齢者を取り巻く社会環境の整備などに取り組みます。	
目指すイメージ	●安心して日常生活をおくることができます	
施策の方向	●地域安全体制の強化 ●消防力の整備	●市民生活における安全の確保

【分析結果】

	平均値	標準偏差	相対順位	備考
重要度	4.438	0.71	8	全体平均値：4.272
満足度	3.199	0.80	8	全体平均値：3.086
ニーズ値	1.239	—	11	全体平均値：1.186 ※ニーズ値=重要度-満足度

相対評価	I	重要度・満足度とも高い項目	評価エリア	A	優先して改善を要する項目
------	---	---------------	-------	---	--------------



特記事項	●ニーズ分析は年齢別で「高年層」、地区別で「新城・柘原地区」が高い。
自由意見	●記入件数 48件／うち課題32件・要望14件・提言 1件・評価 1件・その他 0件 ●キーワード：交通安全対策
平成23年度実施分との比較	●満足度の数値が下がり、評価エリアがC→Aになるなど、成果が見られない。
評価結果	●満足度の数値が低下したことから成果が得られるよう取り組む必要がある。

■政策別分析結果

14. 快適な都市基盤の整備

【政策の概要】

目標の考え方	道路や住宅、公園などの都市基盤は、市民が快適な生活を営むとともに、経済活動や交流の活性化など、都市の発展の礎となる重要な役割を果たすものです。都市の発展の基本となる道路・交通体系などの基盤整備と市民生活に密着した居住環境の整備を進める必要があります。このような都市の健全な発展と秩序ある整備を図るため、都市計画マスタープランを策定し、効率的・計画的な都市基盤の整備に努めます。また、水道は市民生活における重要なライフラインのひとつであり、経済活動や社会的な活動を支える非常に大切な施設でもあります。今後も市民の皆様様に「安心」な水を「安定」して「継続」的に供給できるよう努めていきます。
目指すイメージ	●幹線道路や生活道路が整備され円滑な移動と交通の安全が確保されています ●住みやすい住環境が整備され誰もが快適に暮らしています
施策の方向	●快適な居住環境の整備 ●特色ある快適な都市基盤整備 ●交通の利便性の向上

【分析結果】

		平均値	標準偏差	相対順位	備考
重要度		4.160	0.82	19	全体平均値： 4.272
満足度		3.011	0.83	19	全体平均値： 3.086
ニーズ値		1.149	—	15	全体平均値： 1.186 ※ニーズ値=重要度-満足度
相対評価		IV	重要度・満足度とも低い項目		評価エリア D 改善の必要性が低い項目
ニーズ分析		項目単位	属性単位	凡例／【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位 /数字の○は平均以上を示す	
男女別	男	1	16		
	女	2	13		
年齢別	若年層	1	14		
	壮年層	3	14		
	高年層	2	16		
職業別	会社員	3	14		
	自営業	4	15		
	公務員	5	15		
	農林水産業	1	12		
	パート	7	14		
	専業主婦	2	⑩		
	学生	8	⑤		
	無職	6	14		
その他	—	14			
地区別	新城・柎原地区	4	14		
	垂水地区	3	15		
	水之上・大野地区	2	13		
	協和地区	5	20		
牛根地区全域	1	⑫			
居住年数別	5年未満	2	⑪		
	5～10年	1	15		
	10～20年	3	⑧		
	20年以上	4	16		
特記事項	●ニーズ分析は地区別で「牛根地区」が高い。 ※学生は標本数が少ない。				
自由意見	●記入件数 53件／うち課題35件・要望16件・提言 1件・評価 0件・その他 1件 ●キーワード：社会基盤整備、交通対策、大雨対策などの意見が多い。				
平成23年度実施分との比較	●重要度、満足度、ともに大きく数値や相対順位を下げたことから、成果が見られない。				
評価結果	●重要度、満足度、ともに大きく低下したことから、評価エリアはDであるが改善していくよう取り組む必要がある。				

■政策別分析結果

15. 循環型社会の構築

【政策の概要】

目標の考え方	地球規模の温暖化に対して、特に温暖化の最たる要因である温室効果ガス削減が重要な課題です。本市においては、廃棄物の26分別収集や新エネルギーに対する取り組みを進めています。より一層の成果を上げるためにも、地域省エネルギー政策、新エネルギー政策の充実と3R（リデュース・リユース・リサイクル）などの循環型社会構築に対して、市民総ぐるみで理解を深め、行動していきけるよう取り組みます。 ※3R=Reduce/リデュース：廃棄物の発生抑制・Reuse/リユース：再利用・Recycle/リサイクル：再資源化		
目指すイメージ	●市内全てでゴミ出しルールが定着し、廃棄物が適正に処理されています		
施策の方向	●新エネルギーの活用 ●再資源化の促進	●ゴミの発生抑制 ●省エネルギーの推進	●廃棄物適正処理

【分析結果】

		平均値	標準偏差	相対順位	備考
重要度		4.262	0.80	14	全体平均値：4.272
満足度		3.295	0.89	3	全体平均値：3.086
ニーズ値		0.967	—	20	全体平均値：1.186 ※ニーズ値=重要度-満足度
相対評価		Ⅲ	重要度は低い、満足度は高い項目		評価エリア D 改善の必要性が低い項目
ニーズ分析		項目単位	属性単位	凡例／【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位 /数字の○は平均以上を示す	
男女別	男	2	23		
	女	1	18		
年齢別	若年層	1	19		
	壮年層	3	21		
	高年層	2	21		
職業別	会社員	6	23		
	自営業	2	17		
	公務員	8	24		
	農林水産業	4	23		
	パート	5	17		
	専業主婦	3	16		
	学生	1	②		
	無職	7	23		
	その他	—	18		
地区別	新城・柘原地区	4	18		
	垂水地区	5	20		
	水之上・大野地区	2	24		
	協和地区	1	18		
居住年数別	5年未満	1	18		
	5～10年	2	25		
	10～20年	4	22		
	20年以上	3	20		
特記事項	●ニーズ分析はほぼ全ての階層で低い傾向がある。 ※学生は標本数が少ない。				
自由意見	●記入件数 58件／うち課題33件・要望13件・提言10件・評価 1件・その他 1件 ●キーワード：ゴミ分別、住民意識に関する意見が多い。				
平成23年度実施分との比較	●重要度は大きく下げているが、満足度の相対順位が高いので、現在の取り組みは評価されている。				
評価結果	●満足度が高いことから現状の維持に努めていく必要がある。				

■政策別分析結果

16. 環境の保全

【政策の概要】

目標の考え方	次世代へ環境を引き継いでいくために環境美化意識の向上や河川や海の水質保全に努め、水質保全などに取り組みます。また、桜島、錦江湾、高隈山系などの自然景観や田園風景さらには市街地や歴史的町並みなどの景観の保全と創造に向けて、市民や事業者と一体となった垂水にしかない景観形成に取り組みます。	
目指すイメージ	●自然環境が良好な状態で保たれ、次世代に継承されています	
施策の方向	●生活排水処理対策 ●環境美化の推進	●河川、海の浄化の推進 ●景観保全政策

【分析結果】

		平均値	標準偏差	相対順位	備考
重要度		4.291	0.74	12	全体平均値： 4.272
満足度		3.194	0.80	9	全体平均値： 3.086
ニーズ値		1.097	—	16	全体平均値： 1.186 ※ニーズ値=重要度-満足度
相対評価		I	重要度・満足度とも高い項目	評価エリア	C 現在の水準を維持する項目
ニーズ分析		項目単位	属性単位	凡例／【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位 / 数字の○は平均以上を示す	
男女別	男	1	15		
	女	2	16		
年齢別	若年層	2	18		
	壮年層	3	18		
	高年層	1	⑫		
職業別	会社員	4	17		
	自営業	3	16		
	公務員	8	19		
	農林水産業	1	17		
	パート	7	19		
	専業主婦	5	15		
	学生	6	⑤		
	無職	2	⑨		
	その他	—	20		
地区別	新城・柘原地区	2	⑩		
	垂水地区	5	17		
	水之上・大野地区	1	⑫		
	協和地区	4	16		
	牛根地区全域	3	17		
居住年数別	5年未満	3	21		
	5～10年	1	20		
	10～20年	4	17		
	20年以上	2	15		
特記事項	●ニーズ分析は年齢別で「高年層」、地区別で「水之上・大野地区」が高い。※学生は標本数が少ない。				
自由意見	●記入件数 40件／うち課題16件・要望10件・提言10件・評価 3件・その他 1件 ●キーワード：生活排水対策、住民意識				
平成23年度実施分との比較	●特に大きな変化は見られない。				
評価結果	●本市の基本理念の一つであり、自由意見に課題・要望等もあったことから、より高い成果が得られるよう取り組む必要がある。				

■政策別分析結果

17. 地域資源の活用

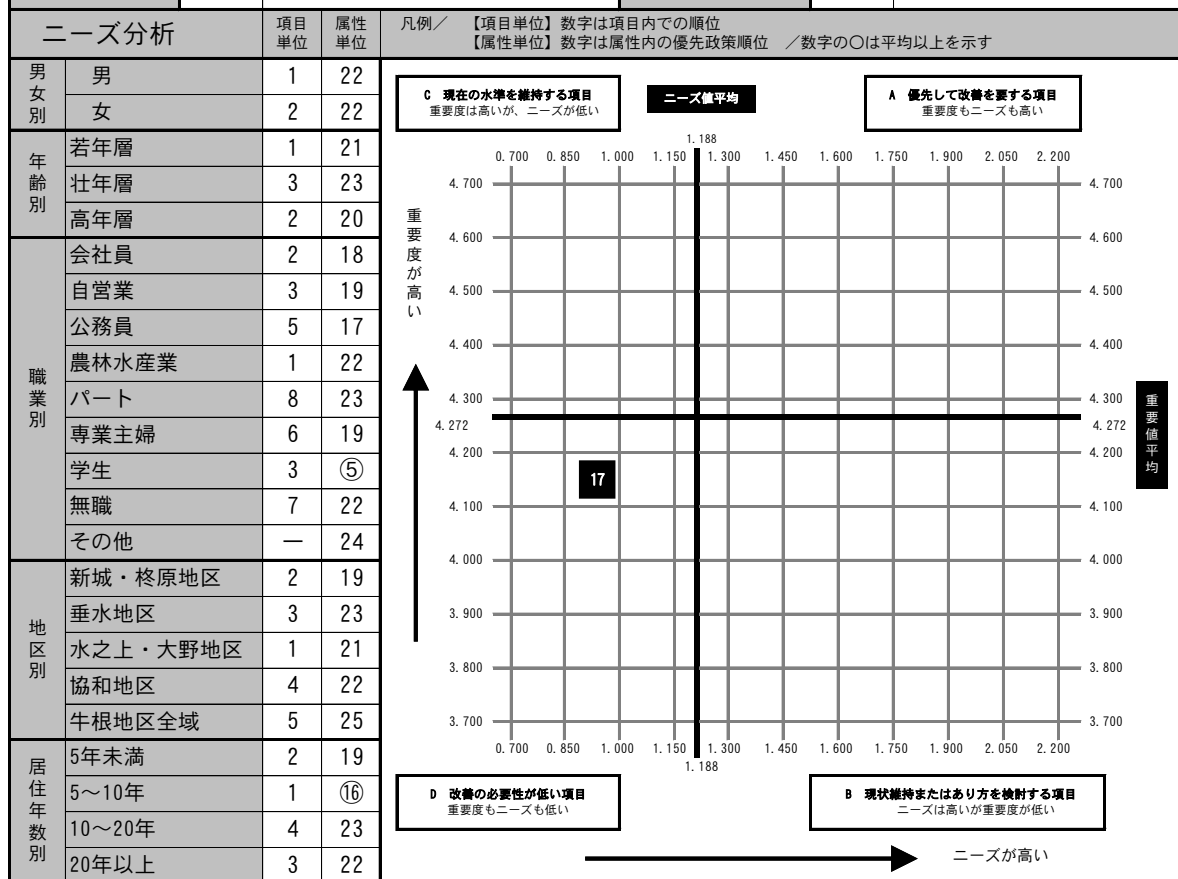
【政策の概要】

目標の考え方	豊かな自然環境、景観、温泉、農水産物や歴史、文化など垂水市の持つ優れた地域資源を最大限に活用した観光や産業の振興に取り組みます。また、行政と市民と事業者が一体となって育むブランド化に取り組み、本市の価値を創造し、積極的に広く内外へ情報発信していく取り組みを進めます。
目指すイメージ	●市民一人ひとりが地域資源のすばらしさを認識し、県内外にも垂水が認知されています
施策の方向	●地域資源の保全、管理 ●情報発信によるブランド定着

【分析結果】

	平均値	標準偏差	相対順位	備考
重要度	4.160	0.82	20	全体平均値：4.272
満足度	3.225	0.77	7	全体平均値：3.086
ニーズ値	0.935	—	22	全体平均値：1.186 ※ニーズ値＝重要度－満足度

相対評価	Ⅲ	重要度は低い、満足度は高い項目	評価エリア	D	改善の必要性が低い項目
------	---	-----------------	-------	---	-------------



特記事項	●満足度が比較的高く、ニーズ分析で全体的に低い傾向がある。 ※学生は標本数が少ない。
自由意見	●記入件数 26件／うち課題10件・要望12件・提言 0件・評価 4件・その他 0件 ●キーワード：地域ブランド、PR等の意見が多い。
平成23年度実施分との比較	●満足度の相対順位が上がり、ニーズ値が低いことから、成果が見られる。
評価結果	●満足度が比較的高く、評価エリアはDとなっているが、本政策は基本理念の一つであるので、さらに成果が得られるよう取り組んでいく必要がある。

■政策別分析結果

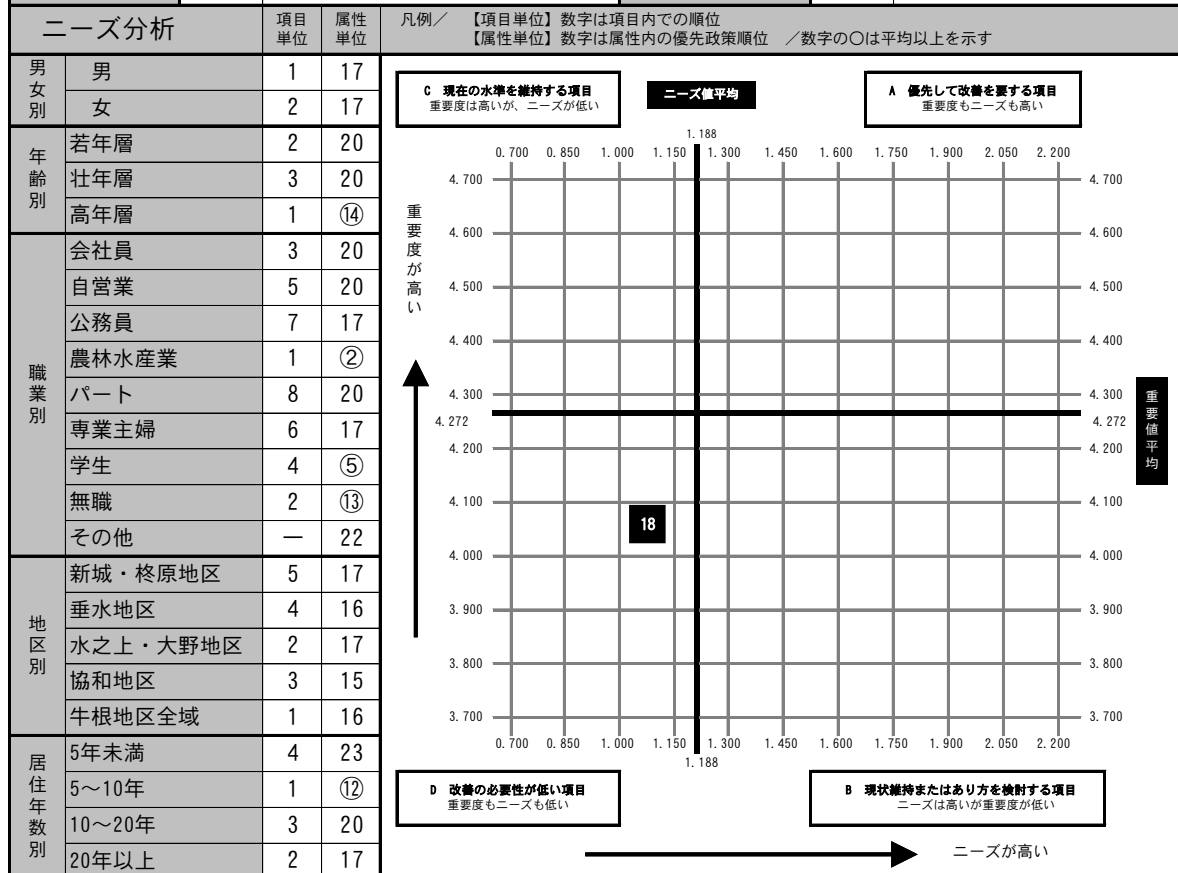
18. 魅力ある農林業の振興

【政策の概要】

目標の考え方	生産・生活基盤の整備をはじめ、経営の安定や環境にやさしい農業の推進など、特色ある農業の展開を図るとともに、担い手育成に努めます。また、消費者ニーズの把握に努めながら、地域の特性を生かした特産品や加工品の開発を促進するとともに、流通ルートの創出に取り組みます。さらに、特産品直売施設の整備や地産地消の推進に努めます。林業については、森林と人との共生の観点に立った森林の保全利用を図ります。		
目指すイメージ	●農業経営の安定化が図られ、生きがいを持って農業に従事しています ●農林業に関する情報が発信され、農林業に対する関心が深まっています		
施策の方向	●経営の安定化 ●地産地消の推進 ●消費者ニーズの把握	●担い手育成対策 ●ブランド化の推進 ●農地利用調整活動	●基盤整備

【分析結果】

	平均値	標準偏差	相対順位	備考
重要度	4.082	0.86	22	全体平均値：4.272
満足度	2.996	0.74	20	全体平均値：3.086
ニーズ値	1.086	—	17	全体平均値：1.186 ※ニーズ値＝重要度－満足度
相対評価	IV	重要度・満足度とも低い項目		評価エリア D 改善の必要性が低い項目



特記事項	●ニーズ分析は年齢別で「高年層」、職業別で「農林水産業」が高い。※学生は標本数が少ない。
自由意見	●記入件数 31件／うち課題15件・要望11件・提言 1件・評価 0件・その他 4件 ●キーワード：後継者、高齢化対策に関する意見が多い。
平成23年度実施分との比較	●特に大きな変化は見られない。
評価結果	●相対的な評価は低いが、本市の基幹産業であり、また、自由意見にある大きな課題等への対応が求められている。

■政策別分析結果

19. 魅力ある水産業の振興

【政策の概要】

目標の考え方	水産業の振興を図るために、漁業生産の基盤となる漁港・漁場環境の整備を進めます。また、消費者ニーズの把握に努めるとともに、地産地消の推進や水産物のブランド化による新たな販売ルートの確保など、経営安定化と後継者の育成に努めます。
目指すイメージ	●水産業経営の安定化と活性化が図られています ●水産業に関する情報が発信され、水産業に対する関心が深まっています
施策の方向	●経営の安定化 ●地産地消の推進 ●消費者ニーズの把握 ●基盤整備 ●ブランド化による付加価値の向上 ●水産物販売施設の整備

【分析結果】

	平均値	標準偏差	相対順位	備考
重要度	4.189	0.80	17	全体平均値：4.272
満足度	3.324	0.74	2	全体平均値：3.086
ニーズ値	0.865	—	25	全体平均値：1.186 ※ニーズ値＝重要度－満足度
相対評価	Ⅲ	重要度は低い、満足度は高い項目	評価エリア	D 改善の必要性が低い項目
ニーズ分析	項目単位	属性単位	凡例／【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位 / 数字の○は平均以上を示す	
男女別	男	1	24	
	女	2	25	
年齢別	若年層	2	25	
	壮年層	3	25	
	高年層	1	22	
職業別	会社員	6	26	
	自営業	4	24	
	公務員	7	23	
	農林水産業	1	16	
	パート	8	27	
	専業主婦	5	22	
	学生	2	⑤	
	無職	3	21	
その他	—	26		
地区別	新城・柘原地区	4	26	
	垂水地区	3	25	
	水之上・大野地区	5	25	
	協和地区	1	17	
居住年数別	牛根地区全域	2	22	
	5年未満	2	26	
	5～10年	1	20	
	10～20年	4	27	
	20年以上	3	24	
特記事項	●満足度が向上したことからニーズ値も低下し、ニーズ分析も全体的に低い。※学生は標本数が少ない。			
自由意見	●記入件数 29件／うち課題15件・要望 9件・提言 0件・評価 5件・その他 0件 ●キーワード：ブランド化、販路拡大に関する意見が多い。			
平成23年度実施分との比較	●満足度の数値、相対順位が大きく上がったことから、成果が見られる。			
評価結果	●自由意見でも評価の良い意見が多く、満足度も向上していることから、現在の取り組みを維持していくよう取り組む必要がある。			

■政策別分析結果

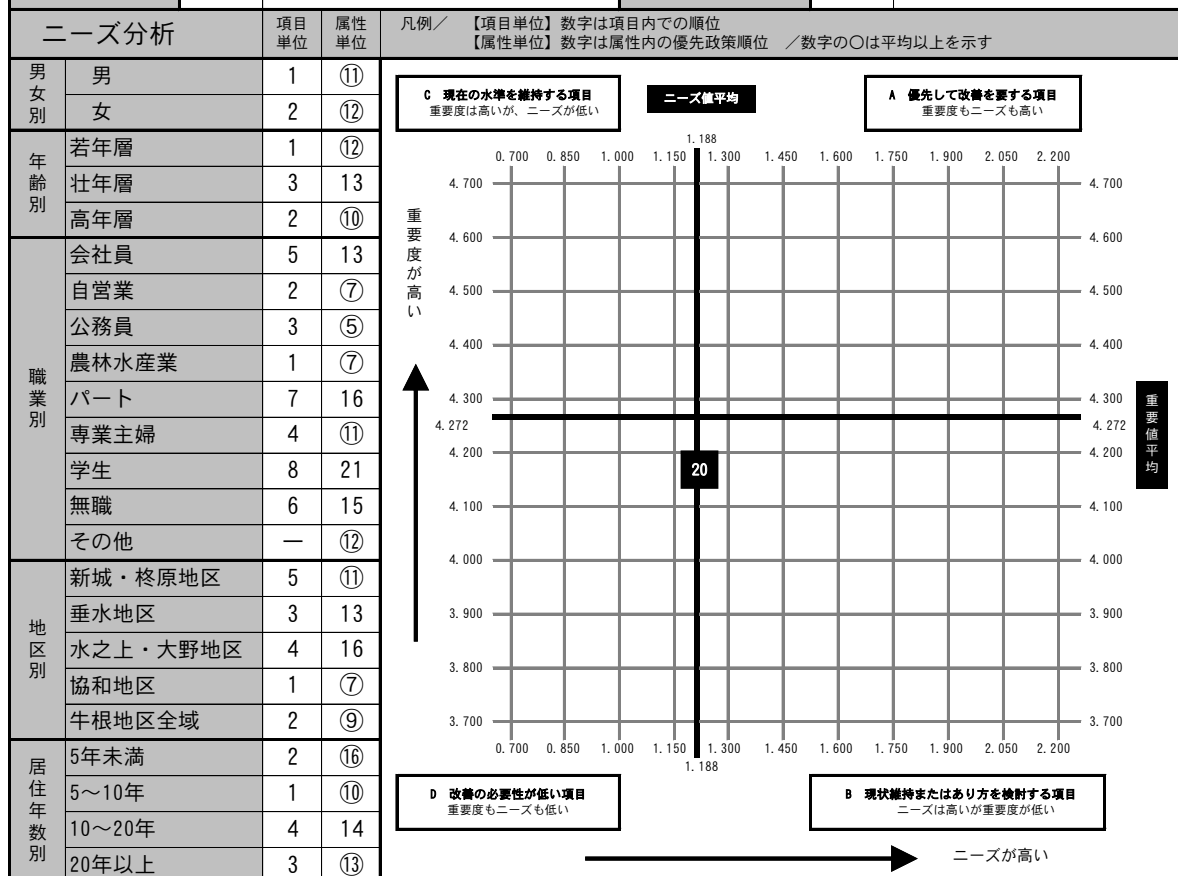
20. 活気ある商工業の振興

【政策の概要】

目標の考え方	市民の日常的な利便性の確保を図ることを基本に、垂水にあった商業のあり方やサービスを展開し、多様化・高度化する消費者ニーズに対応できる商業の育成や振興に取り組みます。
目指すイメージ	●地域のふれあいを大切にした商業の育成により、市民生活の利便性が向上しています ●遊び心のある取り組みが進み、まちが活気にあふれています
施策の方向	●商業経営の近代化 ●安心安全な商品の提供

【分析結果】

	平均値	標準偏差	相対順位	備考
重要度	4.190	0.80	16	全体平均値：4.272
満足度	2.992	0.84	21	全体平均値：3.086
ニーズ値	1.198	—	14	全体平均値：1.186 ※ニーズ値=重要度-満足度
相対評価	IV	重要度・満足度とも低い項目	評価エリア	B 現状維持またはあり方を検討する項目



特記事項	●ニーズ分析は地区別で「協和、牛根地区」が高い。
自由意見	●記入件数 42件／うち課題34件・要望 6件・提言 0件・評価 2件・その他 0件 ●キーワード：プレミアム商品券、地元商店街の振興に関する意見が多い。
平成23年度実施分との比較	●重要度の数値が上がり、満足度の相対順位が上がったので、一定の成果が見られる。
評価結果	●自由意見で示された課題解決を図るなど、満足度の向上、ニーズ値の改善が図れるよう努めていく必要がある。

■政策別分析結果

21. 働く環境の充実

【政策の概要】

目標の考え方	既存の産業の振興に努めながら、コミュニティビジネス等の新たな産業の育成や、時代のニーズに合った新たな起業家の育成に取り組みます。また、企業誘致や創業支援による働く場の確保を行います。	
目指すイメージ	●地域資源を生かしたコミュニティビジネス等の創業が行われています ●多種多様な雇用機会が拡充されています	
施策の方向	●雇用の確保 ●既存産業の振興 ●異業種交流	●企業誘致 ●新たな産業の創出

【分析結果】

		平均値	標準偏差	相対順位	備考
重要度		4.579	0.67	3	全体平均値： 4.272
満足度		2.467	0.88	27	全体平均値： 3.086
ニーズ値		2.112	—	1	全体平均値： 1.186 ※ニーズ値=重要度-満足度
相対評価		II	重要度は高いが、満足度が低い項目	評価エリア	A 優先して改善を要する項目
ニーズ分析		項目単位	属性単位	凡例／【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位 / 数字の○は平均以上を示す	
男女別	男	1	①		
	女	2	①		
年齢別	若年層	1	①		
	壮年層	2	①		
	高年層	3	①		
職業別	会社員	2	①		
	自営業	5	②		
	公務員	1	①		
	農林水産業	4	①		
	パート	3	①		
	専業主婦	6	①		
	学生	8	②		
	無職	7	①		
	その他	—	①		
地区別	新城・柘原地区	1	①		
	垂水地区	2	①		
	水之上・大野地区	3	①		
	協和地区	5	①		
	牛根地区全域	4	①		
居住年数別	5年未満	2	①		
	5～10年	1	①		
	10～20年	4	①		
	20年以上	3	①		
特記事項	●ニーズ分析はほぼすべての階層で1位となっている。				
自由意見	●記入件数 59件／うち課題30件・要望24件・提言 0件・評価 2件・その他 3件 ●キーワード：雇用の確保、企業誘致等に関する意見が多い。				
平成23年度実施分との比較	●満足度の低下、ニーズ値の増加が進んでいるので、成果が見られない。				
評価結果	●満足度が最下位、ニーズ値が1位という結果は、3年連続であることを踏まえ、根本的な課題を解決していくという認識の下で最優先で取り組んでいく必要がある。				

■政策別分析結果

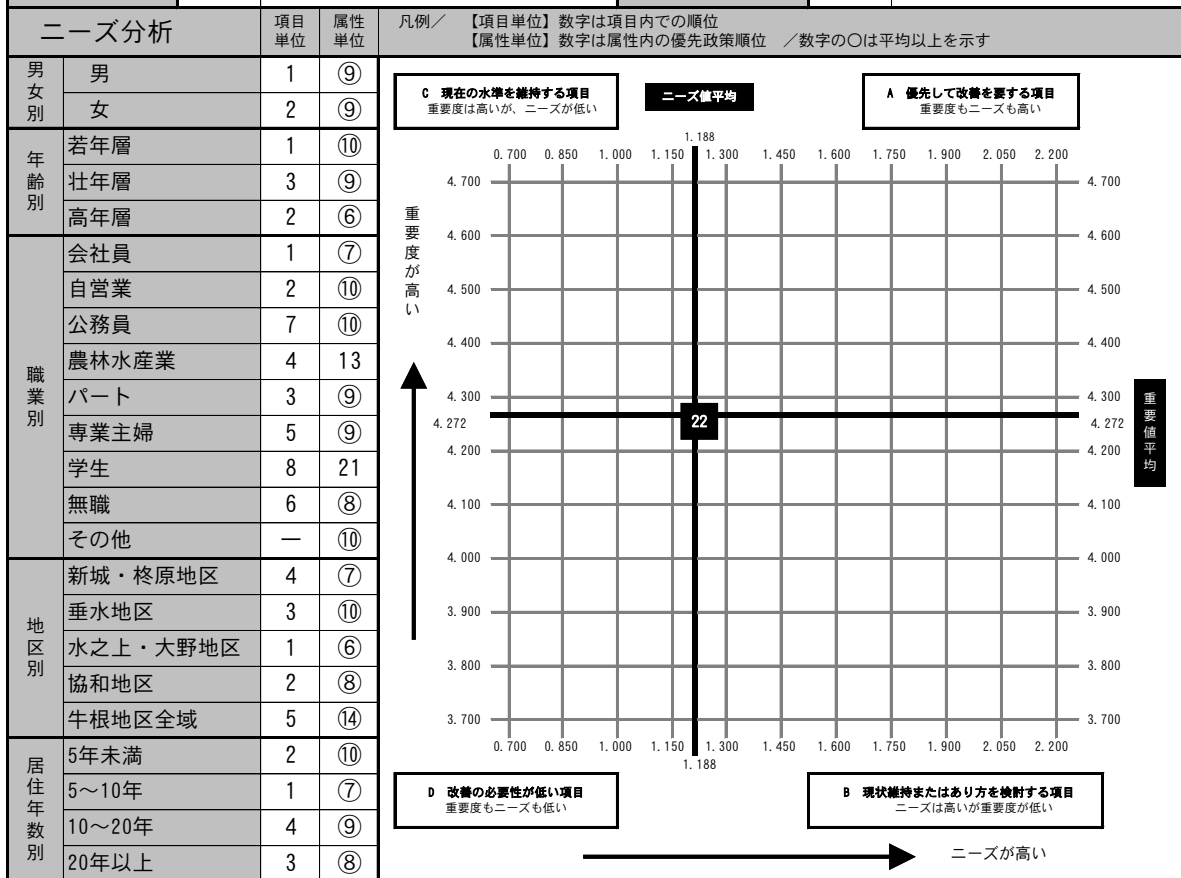
22. 魅力ある観光の振興

【政策の概要】

目標の考え方	垂水市の持つ観光拠点の整備開発を進め、年間を通じて市民や観光客が楽しめる魅力ある観光地づくりや観光情報の発信に取り組みます。また、観光推進体制の確立を図り、大隅半島の玄関口という地理的特性を生かした広域観光への取り組みに努めます。
目指すイメージ	●魅力ある観光地として交流人口が増えています
施策の方向	●観光推進体制 ●観光拠点の整備開発 ●観光情報発信

【分析結果】

	平均値	標準偏差	相対順位	備考
重要度	4.269	0.79	13	全体平均値：4.272
満足度	2.978	0.86	22	全体平均値：3.086
ニーズ値	1.291	—	8	全体平均値：1.186 ※ニーズ値＝重要度－満足度
相対評価	IV	重要度・満足度とも低い項目	評価エリア	B 現状維持またはあり方を検討する項目



特記事項	●ニーズ分析は地区別で「水之上・大野、協和地区」が高い。
自由意見	●記入件数 63件／うち課題24件・要望29件・提言 1件・評価 5件・その他 4件 ●キーワード：各観光スポット、PRに関する意見が多い。
平成23年度実施分との比較	●重要度、ニーズ値の数値が大きく伸びており、評価エリアはBであるが、改善を図る必要がある。
評価結果	●評価エリアはBであるが、満足度やニーズ値の改善を図るよう取り組む必要がある。

■政策別分析結果

23. 市民参画による行政経営

【政策の概要】

目標の考え方	協働によるまちづくりの実現に向けて、市政の様々な場面で市民の参加と参画機会を十分に提供するとともに、市民と行政や議会との適切な役割分担のもと、相互の信頼関係が構築され、相互に支えあう協働の行政経営に取り組みます。
目指すイメージ	●市民一人ひとりが、市政や議会に関心を持ち、相互の信頼関係が築かれています
施策の方向	●市民参画機会の充実

【分析結果】

		平均値	標準偏差	相対順位	備考
重要度		3.786	0.86	27	全体平均値： 4.272
満足度		2.893	0.66	24	全体平均値： 3.086
ニーズ値		0.893	—	24	全体平均値： 1.186 ※ニーズ値＝重要度－満足度
相対評価		IV	重要度・満足度とも低い項目		評価エリア D 改善の必要性が低い項目
ニーズ分析		項目単位	属性単位	凡例／【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位 / 数字の○は平均以上を示す	
男女別	男	1	21		
男女別	女	2	24		
年齢別	若年層	2	23		
	壮年層	3	24		
	高年層	1	23		
職業別	会社員	3	24		
	自営業	1	22		
	公務員	7	25		
	農林水産業	4	25		
	パート	5	24		
	専業主婦	6	25		
	学生	8	21		
	無職	2	20		
	その他	—	13		
地区別	新城・柘原地区	5	25		
	垂水地区	3	24		
	水之上・大野地区	1	23		
	協和地区	4	24		
	牛根地区全域	2	24		
居住年数別	5年未満	2	25		
	5～10年	1	20		
	10～20年	4	24		
	20年以上	3	23		
特記事項	●重要度が最下位で、ニーズ分析はすべての階層で低い傾向がある。				
自由意見	●記入件数 30件／うち課題11件・要望 7件・提言 2件・評価 2件・その他 8件 ●キーワード：政策の情報提供、市民参画の在り方等に関する意見が多い。				
平成23年度実施分との比較	●重要度、満足度がそれぞれ低く、成果が見られない。				
評価結果	●評価エリアがDで、各指標とも低い数値ではあるが、本市基本理念の一つであることからあり方を検討する必要がある。				

■政策別分析結果

24. 市民の目線による行政経営

【政策の概要】

目標の考え方	市民の目線に立ち、積極的で分かりやすい情報提供をするとともに市民ニーズを的確に把握し、真に必要なとされるサービスの提供を行います。
目指すイメージ	●市民と行政の意見交換が活発に行われています
施策の方向	●広報広聴の充実 ●市民本位のサービス提供 ●情報公開の推進

【分析結果】

		平均値	標準偏差	相対順位	備考
重要度		4.052	0.85	23	全体平均値：4.272
満足度		3.059	0.82	17	全体平均値：3.086
ニーズ値		0.993	—	18	全体平均値：1.186 ※ニーズ値＝重要度－満足度
相対評価		IV	重要度・満足度とも低い項目	評価エリア	D 改善の必要性が低い項目
ニーズ分析		項目単位	属性単位	凡例／【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位 / 数字の○は平均以上を示す	
男女別	男	1	18		
	女	2	20		
年齢別	若年層	1	17		
	壮年層	3	19		
	高年層	2	19		
職業別	会社員	4	21		
	自営業	3	18		
	公務員	6	21		
	農林水産業	1	20		
	パート	5	18		
	専業主婦	7	24		
	学生	8	21		
	無職	2	19		
その他	—	15			
地区別	新城・柘原地区	5	20		
	垂水地区	4	21		
	水之上・大野地区	2	19		
	協和地区	3	19		
牛根地区全域	1	18			
居住年数別	5年未満	2	20		
	5～10年	1	18		
	10～20年	4	21		
	20年以上	3	18		
特記事項	●重要度に対して満足度が高く、ニーズ分析も各階層における差異はあまりない。				
自由意見	●記入件数 27件／うち課題12件・要望 3件・提言 0件・評価10件・その他 2件 ●キーワード：広報紙に関する意見が多い。				
平成23年度実施分との比較	●満足度の相対順位が上がり、ニーズ値も改善されているので成果が見られる。				
評価結果	●自由意見では広報紙に対する評価の意見が多く、現状の維持に努めていく必要がある。				

■政策別分析結果

25. 市民の期待に応える職員の育成

【政策の概要】

目標の考え方	住民ニーズはますます高度化、多様化しており、価値観やライフスタイルの多様化も顕著になっている現在、時代の変化に適応した新たな行政施策の展開が求められています。徹底した行政改革の推進、健全財政の維持、職員の定員管理についても適正化を進めてきており、最小の経費で最大の効果が上がるよう、さらに効率的な行政運営を進めていく必要があります。そのため、行政の担い手となる職員の意欲や姿勢の改革、職務能力の一層の向上を図り、組織としても積極的に人材育成の取組を強化していきます。
目指すイメージ	●職員一人ひとりが成果やコスト意識を持って業務に取り組んでいます
施策の方向	●職員の意識改革 ●人材育成方針策定

【分析結果】

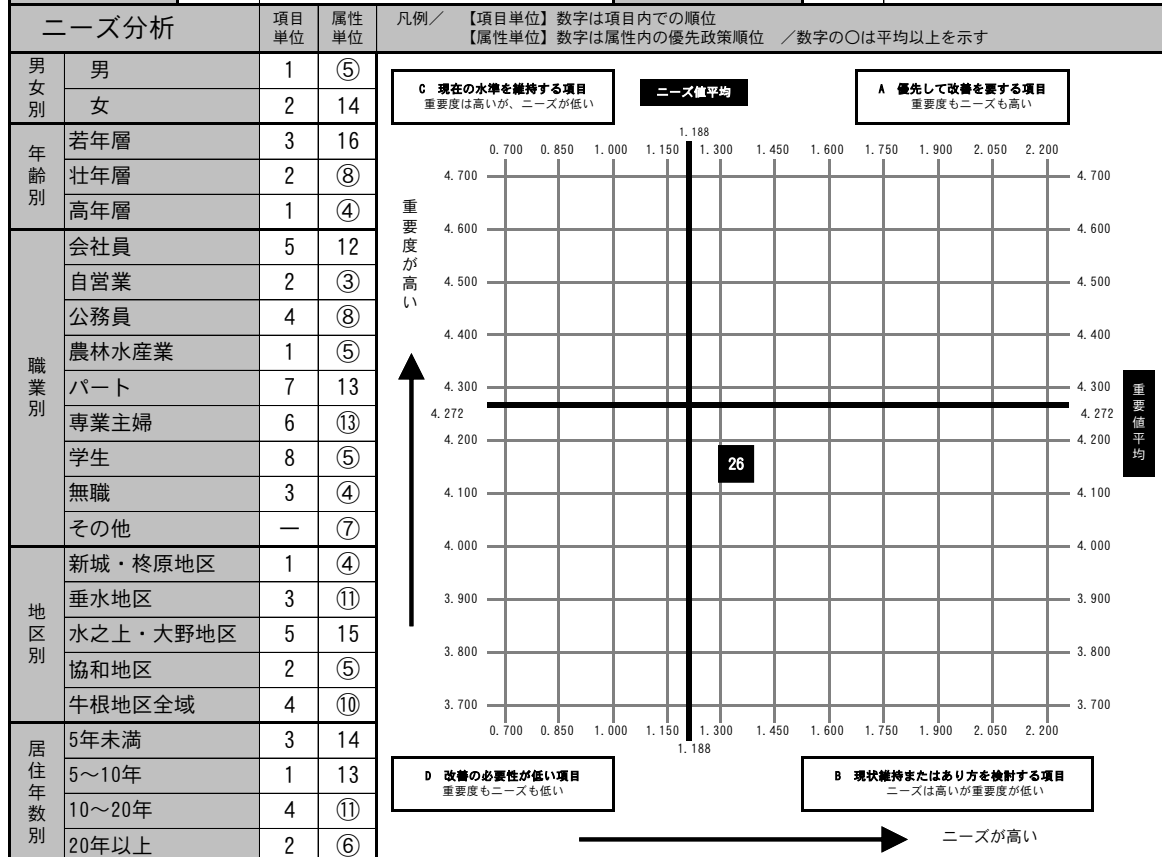
		平均値	標準偏差	相対順位	備考
重要度		4.415	0.76	10	全体平均値：4.272
満足度		2.711	0.98	26	全体平均値：3.086
ニーズ値		1.704	—	2	全体平均値：1.186 ※ニーズ値＝重要度－満足度
相対評価		II	重要度は高いが、満足度が低い項目	評価エリア	A 優先して改善を要する項目
ニーズ分析		項目単位	属性単位	凡例／【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位 / 数字の○は平均以上を示す	
男女別	男	1	②		
男女別	女	2	②		
年齢別	若年層	3	④		
	壮年層	1	②		
	高年層	2	②		
職業別	会社員	3	③		
	自営業	1	①		
	公務員	7	12		
	農林水産業	2	③		
	パート	5	③		
	専業主婦	6	②		
	学生	8	21		
	無職	4	②		
その他	—	③			
地区別	新城・柘原地区	2	②		
	垂水地区	4	②		
	水之上・大野地区	3	②		
	協和地区	1	②		
居住年数別	5年未満	3	④		
	5～10年	1	②		
	10～20年	4	③		
	20年以上	2	②		
特記事項	●ニーズ分析は職業別で「公務員」を除き高く差異が見られる。※学生は標本数が少ない。				
自由意見	●記入件数 75件／うち課題49件・要望11件・提言 0件・評価 8件・その他 7件 ●キーワード：待遇、職員数、人材育成に関する意見が多い。				
平成23年度実施分との比較	●満足度が低く、ニーズ値が2位と高いため、成果が見られない。				
評価結果	●自由意見で待遇等に関する意見も多く、早急に対応しながら、満足度の向上、ニーズ値の改善に努める必要がある。				

【政策の概要】

目標の考え方	地方分権時代において、自治体としての自立と自己責任による行政経営が求められるとともに、市政の運営を担う行政には、将来にわたって、永続的に市民から信頼され、その負託に応えていくという大きな責務が課せられています。このため、行政改革大綱に基づき、「新しい公共」の形成を理念として、持続可能な財政基盤を確立するとともに、徹底した行政改革を推進することにより、市民や地域の力が最大限に発揮できる新しい形の行政経営を進めます。また、真の地方主権の確立に向けた権限の移譲を求め、国・県との対等な関係を構築するとともに、近隣市町との連携のもと広域的な行政課題の解決に取り組みます。
目指すイメージ	●行政改革が進み、新しい公共という形の行政経営が行われています
施策の方向	●定員適正化の推進と民間能力の活用 ●行政を評価する仕組みの構築

【分析結果】

	平均値	標準偏差	相対順位	備考
重要度	4.166	0.82	18	全体平均値： 4.272
満足度	2.860	0.79	25	全体平均値： 3.086
ニーズ値	1.306	—	7	全体平均値： 1.186 ※ニーズ値＝重要度－満足度
相対評価	IV	重要度・満足度とも低い項目	評価エリア	B 現状維持またはあり方を検討する項目



特記事項	●ニーズ分析は男女別で「男」、年齢別で「高年・壮年層」、地区別で「新城・柘原、協和地区」が高い。
自由意見	●記入件数 27件／うち課題20件・要望 2件・提言 0件・評価 0件・その他 5件 ●キーワード：政策の情報提供、職員数等に関する意見が多い。
平成23年度実施分との比較	●満足度が低く、ニーズ値が高いため、成果が見られない。
評価結果	●評価エリアはBであるが、満足度の低下、ニーズ値が大きく伸びたことから、改善を図るよう取り組む必要がある。

■政策別分析結果

27. 財政運営の健全化

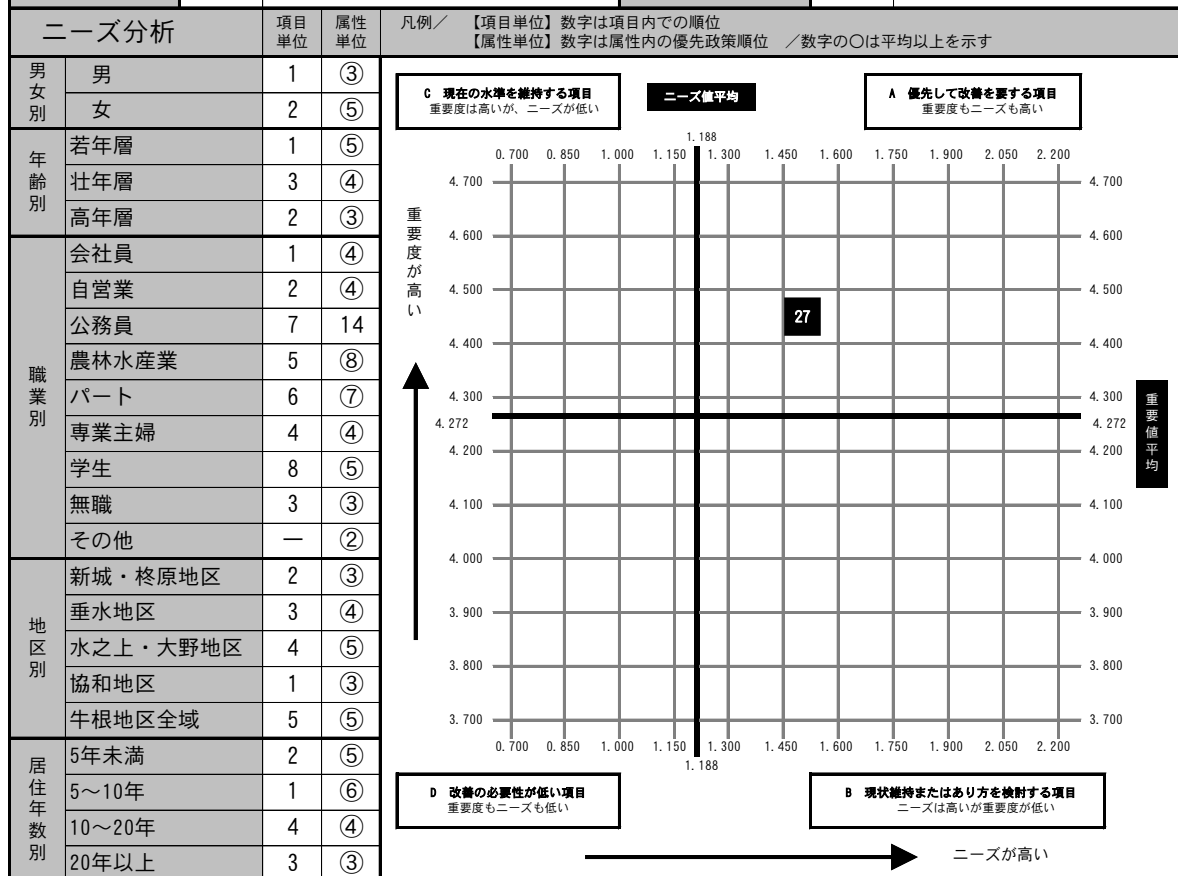
【政策の概要】

目標の考え方	健全な財政基盤を確立するためには、財政の自由度を高めると共に、真に必要とされるサービスを選択することが重要です。このため、自らの責任において、財源を確保し、市民の納得度を高めていくという視点で必要とされる公共サービスを常に効果的・効率的かつ安定的に供給できるという持続可能な財政運営に努めます。
目指すイメージ	●持続可能な財政運営が行われています
施策の方向	●財政運営の効率化の推進 ●安定的な財源の確保

【分析結果】

	平均値	標準偏差	相対順位	備考
重要度	4.435	0.75	9	全体平均値：4.272
満足度	2.938	0.81	23	全体平均値：3.086
ニーズ値	1.497	—	4	全体平均値：1.186 ※ニーズ値＝重要度－満足度

相対評価	II	重要度は高いが、満足度が低い項目	評価エリア	A	優先して改善を要する項目
------	----	------------------	-------	---	--------------



特記事項	●各階層におけるニーズ値は全体的に高い傾向にある。
自由意見	●記入件数 27件／うち課題17件・要望 7件・提言 0件・評価 1件・その他 2件 ●キーワード：滞納対策、職員給与等に関する意見が多い。
平成23年度実施分との比較	●満足度が低く、重要度、ニーズ値が高いため、成果が見られない。
評価結果	●満足度、ニーズ値の改善が図れるよう優先して取り組む必要がある。

■政策別分析結果

■27政策 評価エリア集合図

【政策の概要】

目標の考え方	
主な取り組み	

【分析結果】

		平均値	標準偏差	相対順位	備考			
重要度					全体平均値： 4.272			
満足度					全体平均値： 3.086			
ニーズ値			—		全体平均値： 1.188 ※ニーズ値=重要度-満足度			
相対評価		no	評価エリア		no			
ニーズ分析		項目単位	属性単位	凡例／【項目単位】数字は項目内での順位 【属性単位】数字は属性内の優先政策順位 /数字の○は平均以上を示す				
男女別	男 女			<p>C 現在の水準を維持する項目 重要度は高いが、ニーズが低い</p> <p>A 優先して改善を要する項目 重要度もニーズも高い</p> <p>D 改善の必要性が低い項目 重要度もニーズも低い</p> <p>B 現状維持またはあり方を検討する項目 ニーズは高いが重要度が低い</p> <p>ニーズ平均: 1.188</p> <p>重要度平均: 4.272</p>				
年齢別	若年層 壮年層 高年層							
職業別	会社員 自営業 公務員 農林水産業 パート 専業主婦 学生 無職 その他							
	地区別	新城・柘原地区 垂水地区 水之上・大野地区 協和地区 牛根地区全域						
		居住年数別	5年未満 5～10年 10～20年 20年以上					
			特記事項			●		
			自由意見			●自由意見記入件数 件／課題 件・評価 件・要望 件・その他 件 ●キーワード：		
	平成23年度実施分との比較		●					
評価結果	●							

3. 今後の居住志向

前回の調査に引き続き、設問28に「あなたは今後も、垂水市に住み続けたいと思いますか？」を設け、「思う」から「思わない」の5段階評価とその理由を尋ねた。

集計結果については、次のとおりである。

(1) 回答状況

	5： 思う	4： どちらかといえ ばそう思う	3： どちらともいえ ない	2： どちらかといえ ばそう思わない	1： 思わない
回答者数	431件	192件	166件	66件	33件
回答割合	48.5%	21.6%	18.7%	7.4%	3.7%
	70.1%		18.7%	11.1%	
参考（前回）	70.3%		17.1%	12.6%	

(2) 回答者属性別の集計結果

項目		平均値	標準 偏差	順位
男女別	男	4.131	1.12	1
	女	3.971	1.14	2
年齢別	若年層	3.608	1.24	3
	壮年層	3.919	1.13	2
	高年層	4.299	1.00	1
職業別	会社員	3.923	1.18	7
	自営業	4.114	1.10	5
	公務員	4.261	0.67	4
	農林水産業	4.459	0.95	2
	パート	3.752	1.20	8
	専業主婦	3.984	1.07	6
	学生	4.500	0.50	1
	無職	4.263	1.08	3
	その他	3.750	1.26	9

項目		平均値	標準 偏差	順位
地区別	新城・柊原地区	4.146	1.11	2
	垂水地区	3.988	1.10	4
	水之上・大野地区	3.842	1.29	5
	協和地区	4.287	1.06	1
	牛根地区全域	4.050	1.16	3
居住年数別	5年未満	3.739	1.19	3
	5～10年	3.447	1.20	4
	10～20年	3.761	1.15	2
	20年以上	4.157	1.10	1

全体平均	標準偏差
4.038	1.14

(3) 自由意見記入状況

自由意見は合計541人が評価の理由を記入している。その主な理由をキーワード設定して整理した。

○居住志向についての代表的な意見／n=541

主な理由	1 思わない	2 どちらかと言 えばそう思わ ない	3 どちらとも 言えない	4 どちらかと言 えばそう思う	5 思う	合 計
生まれ育ったまちだから			2	12	87	101
住みやすい（住み慣れた）			1	20	49	70
ふるさと（先祖・実家）だから				5	30	35
自然環境（自然の恵み）が良い				14	29	43
垂水市が生活基盤			2	17	23	42
地域の絆（人情）	1		1	3	19	24
介護・高齢外やむを得ず			2	5	17	24
垂水市が好き				4	11	15
今後の人生を豊かに				1	7	8
雇用・経済の活性化要望	3	3	9			15
行財政・税金への要望	1	5	8			14
交通・商業環境の充実要望	3	4	6	3		16
人口減少対策要望	1	2	4			7
医療環境の充実要望		5	4	5		14
安心・元気な垂水への要望	2	2	2	3		9
介護福祉環境充実への要望		1	2	1		4
教育環境充実への要望		2	2			4
住環境の充実要望（降灰）	5	9	15	4		33
住環境の充実要望（降灰以外）		1	2	1		4
住み続ける理由が見つからない	5	10	4			19
今後住み続けるか分からない			5			5
防災対策の充実への要望			1			1
その他	4	2	6	3	19	34
件数（比率）	25 (4.6%)	46 (8.5%)	78 (14.4%)	101 (18.7%)	291 (53.8%)	541 (100%)
	13.1%		14.4%	72.5%		—

(4) 評価・分析まとめ

(1)の回答状況より、今後の居住志向について「ある（5・4を選択）」とした人が、合計623人（70.1%）、「ない（2・1を選択）」とした人が、合計99人（11.1%）で、本市に住み続けたい人が7割いる結果となった。

(2)は回答者属性別の平均値を算出し、属性項目ごとの傾向や項目カテゴリ内の差異の検証を行った。

はじめに、評価者全体の数値であるが、平均値は 4.038、標準偏差は 1.14 となった。

次に項目カテゴリ内において、その属性項目ごとの傾向をチェックする。

まず、男女別では男女の開きが 0.160 ポイントとなり、前回と違い「男性」の居住志向が高い結果となった。

年齢別では「高年層」と「若年層」の開きが 0.691 ポイントとなり前回と同様「高年層」の居住志向が強い結果となった。

職業別で最もポイントが高いのは「学生」であるが、標本数が少ないので次点の「農林水産業」と最も低かった「パート」と比較すると、0.707 ポイントの差があった。

地区別では最も高かった「協和地区」と最も低かった「水之上・大野地区」の開きが 0.445 ポイントとなった。「協和地区」は昨年から 0.323 ポイント上昇し、反対に「水之上・大野地区」は、0.519 ポイントと大きく減少した結果となった。

居住年数別では「20年以上」が高く、一番低い「5年～10年」との開きが 0.710 ポイントであった。

このように男女別・地区別は大きな開きがないが、年齢別・職業別・居住年数別では、0.5 ポイント以上の開きがあった。

(3)の自由意見の回答状況から、居住志向がある回答者の主な理由の傾向は「生まれ育ったまち・ふるさと」「住みやすい」「自然環境が良い」という意見が多い中で「垂水市が生活基盤だから」「介護・高齢のためやむを得ず」といった意見もあった。

居住志向がない回答者の傾向は、今年は特に「降灰による住環境」が多く、次いで「雇用環境」「商業環境」「医療環境」などに対する意見が上げられた。

以上、本市では、前回と同様、居住志向は約7割と非常に高い数値となったが、今後、この居住志向を高めていくためにも、居住志向のない理由に対して何らかの取り組みを行う必要があるといえる。

4. 平成24年度市民満足度調査総括

平成24年度の市民満足度調査では、「2. 政策別分析結果」で政策ごとに評価分析を行い、今後の施策推進のための方向性等を示し、「3. 今後の居住志向」では、回答者属性別の分析を行った。

ここでは、総括として、調査全般に関することと、今後優先したり重点化したりして取り組んでいく政策についてまとめる。

なお、政策ごとに詳細な分析を行いたい場合には、本データを配布できるので、更なる政策の確実な実行に役立てていただきたい。

(1) 調査全般に関する評価

①回収率向上から見えるもの

今回の市民満足度調査において、標本の抽出方法は、振興会の協力のもと「割当法」で行い、当初の予定を大きく上回る 973件（97.3%）の標本を確保することができた。特に自由意見の記入者は、973人中628人、意見総数は 2,028件に上った。

意見の中には、政策に対する提言や問題提起をはじめ、「市政の状況が把握できた」との声もあり、このことは市民の市政参画の足がかりになるものと思われ、十分な成果が得られたといえる。

これらの自由意見に対しては、意見への対応を丁寧に行うことで、市政への信頼性が高まり、さらには本市が目指す「共生・協働のまちづくり」に近付くことができることから、各課においては、適切な対応に努めていただきたい。

②効率的で効果的な調査

前回までの市民満足度調査では、自由意見で「政策の取組状況が分からない」といった意見も多く、調査精度を高める工夫が求められていた。今回は、第4次垂水市総合計画基本計画中間見直し事業と連携して実施していたことから、政策担当課に取組状況をまとめていただき、より丁寧な情報提供に努めた。

また、回収方法も垂水市振興会長連絡協議会の協力をいただき、従来の郵送から振興会長による直接回収としたため、回収率の大幅な向上と通信運搬費の削減が行われ、効率的で効果的な調査が実施できたといえる。

一方で次回の課題としては、自由意見の中で「調査項目が多く回答が大変」といった意見が多かったことから、次回実施の際には、更なる工夫を講じたい。しかし、抜本的な改善については、現在の第4次垂水市総合計画の継続性を考慮し、新たな総合計画策定の際に取り組みを行いたい。

(2) 全体分析における政策評価（平成24年度市民満足度調査分）

一般的に政策の重要度が高く、満足度が低いものは、早急に対策を講ずるべきという判断がなされる。設定したニーズ値は、この重要度と満足度の差であり、これを社会的ニーズとして定義している。

このニーズ値の高い上位10政策については、次表のとおりである。

◎全体分析／ニーズ値（重要度－満足度）

	政策名	ニーズ値	重要度の順位／満足度の順位（降順）
1	21. 働く環境の充実	2.112	重要度3位／満足度27位（1位）
2	25. 市民の期待に応える職員の育成	1.704	重要度10位／満足度26位（2位）
3	11. 医療体制の充実	1.550	重要度1位／満足度14位（14位）
4	27. 財政運営の健全化	1.496	重要度9位／満足度23位（5位）
5	12. 地域防災対策の推進	1.407	重要度2位／満足度6位（22位）
6	4. 子育て支援体制の充実	1.342	重要度6位／満足度13位（15位）
7	26. 行政改革の推進	1.307	重要度18位／満足度25位（3位）
8	22. 魅力ある観光の振興	1.291	重要度13位／満足度22位（6位）
9	5. 学校教育の充実	1.282	重要度4位／満足度5位（23位）
10	10. 障害者保健福祉の推進	1.272	重要度11位／満足度16位（12位）

(3)平成23年度市民満足度調査との比較

今回のアンケート結果と平成23年度実施分との満足度およびニーズ値を視点とした比較により、各政策の成果確認を行った。基本的に「満足度」が増加したもの、もしくは「ニーズ値」が減少したものを成果が確認できたもの、反対に「満足度」が減少したもの、もしくは「ニーズ値」が増加したものは、成果が確認できなかったものとしている。なお、重要度については、成果確認の対象とはしていないが、最終的な評価結果をまとめる上で参考として示している。

① 重要度

重要度の平均値は、平成23年度と比較し0.027ポイント上昇した。政策別にみると平均値が上がった政策が14政策、下がった政策は13政策、また、相対順位の変動は、順位の上がったものが12政策、下がったものが11政策、変動なしが4政策となった。

重要度の数値が大きく伸びた政策の上位3政策は次のとおりである。

- [1] 22. 魅力ある観光の振興 +0.211
- [2] 27. 財政運営の健全化 +0.192
- [3] 21. 働く環境の充実 +0.190

② 満足度

満足度の平均値は、平成23年度と比較し0.147ポイント低下した。政策別にみると平均値が上がった政策が2政策、下がった政策が25政策、また、相対順位の変動は、順位の上がったものが11政策、下がったものが11政策、変動なしが5政策となった。

改善された政策（満足度の数値が伸びたもの）及び改善が見られない政策（満足度の数値が減少したもの）の上位3政策は次のとおりである。

【改善された政策】

- [1] 19. 魅力ある水産業の振興 +0.026
- [2] 5. 学校教育の充実 +0.026
- [3] -

【改善が見られない政策】

- [1] 21. 働く環境の充実 -0.322
- [2] 14. 快適な都市基盤の整備 -0.316
- [3] 11. 医療体制の充実 -0.295

③ ニーズ値

ニーズ値の平均値は、平成23年度と比較し0.175ポイント上昇した。政策別にみると平均値が上がった政策が25政策、下がった政策が2政策、また、相対順位の変動は、順位の上だったものが9政策、下がったものが12政策、変動なしが6政策となった。

改善された政策（ニーズ値の数値が減少したもの）及び改善が見られない政策（ニーズ値の数値が増加したもの）の上位3政策は次のとおりである。

【改善された政策】

[1]	24. 市民目線による行政経営	-0.049
[2]	2. 市民の多様な交流と連携の促進	-0.046
[3]	—	

【改善が見られない政策】

[1]	21. 働く環境の充実	+0.512
[2]	27. 財政運営の健全化	+0.380
[3]	26. 行政改革の推進	+0.374

(3)平成23年度市民満足度調査重点化4政策の検証

平成23年度重点化の4政策について、次のとおり検証を行った。

① 4. 子育て支援体制の充実

	重要度		満足度		ニーズ値		相対評価	評価 I/II/A
	平均値	相対順位	平均値	相対順位	平均値	相対順位		
H24	4.466	6	3.124	13	1.342	6	I	A
H23	4.379	10	3.188	16	1.191	5	II	A
差	0.087	4	-0.064	3	0.151	-1		

【考察】

相対評価がII→Iになり、満足度の相対順位が上がるなど、一定の事業成果が確認できた。しかし、重要度が4ランク上がり、ニーズ値の数値、相対順位は依然として高いので、引き続き取り組んでいく必要がある。

② 12. 地域防災対策の推進

	重要度		満足度		ニーズ値		相対評価	評価 I/II/A
	平均値	相対順位	平均値	相対順位	平均値	相対順位		
H24	4.633	2	3.226	6	1.407	5	I	A
H23	4.656	2	3.458	5	1.198	4	I	A
差	-0.023	0	-0.232	-1	0.209	-1		

【考察】

ニーズ値は高い水準にあるが、重要度2位に対して、満足度も6位であることから一定の事業成果が認められている。重要度が高いことから現在の水準を維持していくよう引き続き取り組んでいく必要がある。

③ 21. 働く環境の充実

	重要度		満足度		ニーズ値		相対評価	評価 I/II/A
	平均値	相対順位	平均値	相対順位	平均値	相対順位		
H24	4.579	3	2.467	27	2.112	1	II	A
H23	4.389	7	2.789	27	1.600	1	II	A
差	0.190	4	-0.322	0	0.512	0		

【考察】

前年に引き続き、満足度が大きく数字を落として最下位、ニーズ値も大きく数字を伸ばしての1位となった。また、(2)の①重要度の伸びが3位、②満足度の改善が見られない政策の1位、③ニーズ値の改善が見られない政策の1位となるなど、全く成果が見られない結果となった。より強力な施策の充実が求められている。

④ 25. 市民の期待に応える職員の育成

	重要度		満足度		ニーズ値		相対評価	評価エリア
	平均値	相対順位	平均値	相対順位	平均値	相対順位		
H24	4.415	10	2.711	26	1.704	2	II	A
H23	4.226	14	2.895	26	1.332	2	IV	B
差	0.189	4	-0.184	0	0.372	0		

【考察】

昨年に引き続き、満足度が「21.働く環境の充実」の次に悪く、ニーズ値も2位となったことから、成果が確認できない結果となった。また、重要度の数値が上がったため、相対評価はIV→II、評価エリアもB→Aとなり、優先して改善を要する項目となった。

(4)まとめ～平成24年度市民満足度調査から見える優先し重点化して取り組む政策～

これらの結果から、第4次垂水市総合計画基本構想「施策の大綱」に掲げた基本目標ごとに優先し取り組む政策を2政策ずつ掲げ、また、全体として特に重点化し取り組むべき政策を4政策掲げる。

基本構想「施策の大綱」名	基本計画の政策名	重点化
基本目標1 住民による住民のためのまちをつくる	4. 子育て支援体制の充実	◎
	5. 学校教育の充実	
基本目標2 安心して暮らせるまちをつくる	11. 医療体制の充実	◎
	12. 地域防災対策の推進	
基本目標3 環境と経済が共存し、循環していくまちをつくる	21. 働く環境の充実	◎
	22. 魅力ある観光の振興	
基本目標4 市民を大切にすまちをつくる	25. 市民の期待に応える職員の育成	◎
	27. 財政運営の健全化	